一般社団法人　日本損害保険協会　2019～2021 年度 自賠責運用益拠出事業
自動車事故防止対策　地域密着型交通安全教育の方策開発と普及活動支援

ドライブレコーダーを用いた
自動車運転者への安全運転教育手法の開発

「無意識運転から意識運転へ」

【２０２０年度（３年間の２年目）研究実績報告】

2021．３　特定非営利活動法人　安全と安心　心のまなびば

目　　次

はじめに 1
1.　研究目的と着想 2
2.　3か年でのスケジュール 4
3.　２年目（２０２０年度）での取り組み 5
3-①　安全運転教育プログラムの改善・改良 6
3-①-1　目的・目標・手段・成果目標 6
3-①-2　安全運転教育プログラム及び安全運転カフェの流れ 7
3-①-2-1　安全運転教育プログラムの流れ 7
3-①-2-2　安全運転カフェの流れ 7
3-①-2-ア　足下カメラの活用 9
3-①-2-ア-1　足下カメラの活用背景 9
3-①-2-ア-2　足下カメラ画像で観察される無意識のクセ 10
3-①-2-ア-3　安全運転カフェ 2020 での足下映像の意識化方策 10
3-①-2-イ　自己評価シートの改良 11
3-①-2-ウ　デモ映像の改良 14
3-①-2-エ　くせの「チェックポイント一覧」と「くせ一覧表」を新たに提示 15
3-①-2-オ　「くせ」の買い取り制度 17
3-①-2-カ　録画映像の２回再生 18
3-②　安全運転カフェ 2020 実施報告 19
3-②-1　2021-1 団体目（累計７団体・17 人目） 19
3-②-1　2021-2 団体目（累計８団体・18・19 人目） 23
3-②-1　2021-3 団体目（累計９団体・20 人目） 27
3-②-1　2021-4 団体目（累計 10 団体・21 人目） 31
3-②-1　2021-5 団体目（累計 11 団体・22・23 人目） 35
3-②-1　2021-6 団体目（累計 12 団体・24 人目） 40
3-②-1　2021-7 団体目（累計 13 団体・25 人目） 44
3-②-2　安全運転カフェ 2020 結果集計・考察 48
3-②-2-1　自己評価 48
3-②-2-2　くせの発見 51
3-②-2-3　自由回答 52
3-②-3　日常運転時での下肢動作意識化への働きかけ 52
3-②-4　今後の課題 53
3-③　手法の改良・パッケージ化 54
3-④　協力組織・団体への拡大 55
4.　今後の予定 57
あとがき 58
ドラレコ研究部会・研究員名簿 59

はじめに

本 NPO 法人「安全と安心 心のまなびば」は、2019 年度から日本損害保険協会の研究助成を得て、７件の事業を計画し遂行しておりました。

しかし２年目に当たる 2020 年度は新型コロナウイルス感染問題の直接的影響を受け、計画通りの活動に支障をきたし、約半数は中止または延期せざるを得ない状態になりました。

とはいえ中核的プロジェクトに位置付けた本「高齢運転者の安全対策研究」に関しては、可能な研究機会は逃さず鋭意取り組んだ結果、中間報告を日本交通心理学会で発表できるところまで漕ぎつけたところです。

ユニークな４ウエイドライブレコーダ（以下ドラレコ）の設置及び分析ソフトの開発と応用、さらに「安全運転カフェ」における自発的気づきと安全運転態度の意識化に関する所期の研究目的を順次達成しつつあります。

コロナ禍だけに、研究協力者の数的満足度に達していない部分を補いつつ、研究の信頼性と妥当性を強化していく所存です。

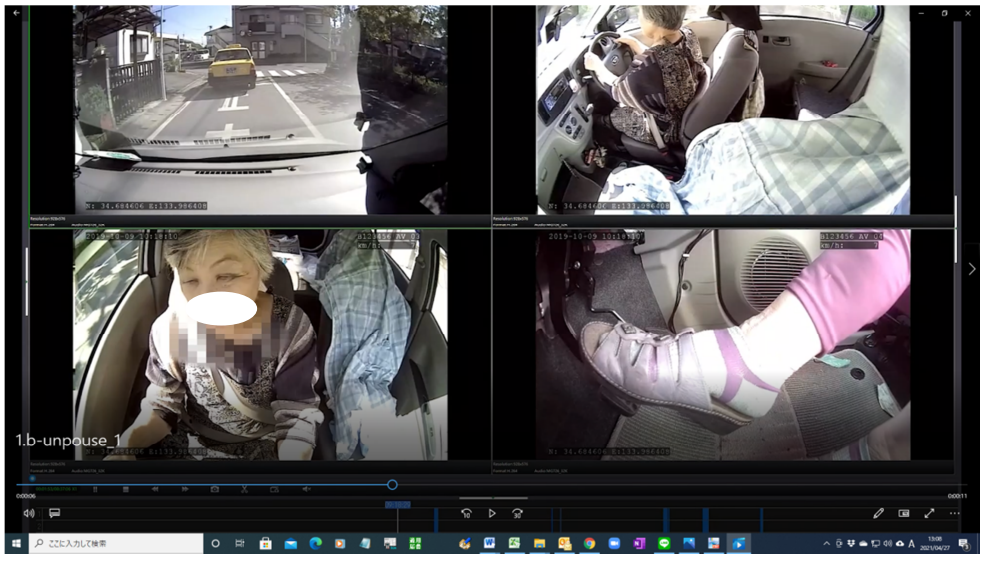
本報告書に関してご指摘頂く部分を真摯に受け止め、次年度の最終年度に向けて一層尽力いたします。　今後一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

NPO 法人 安全と安心 心のまなびば
理事長　　金光義弘

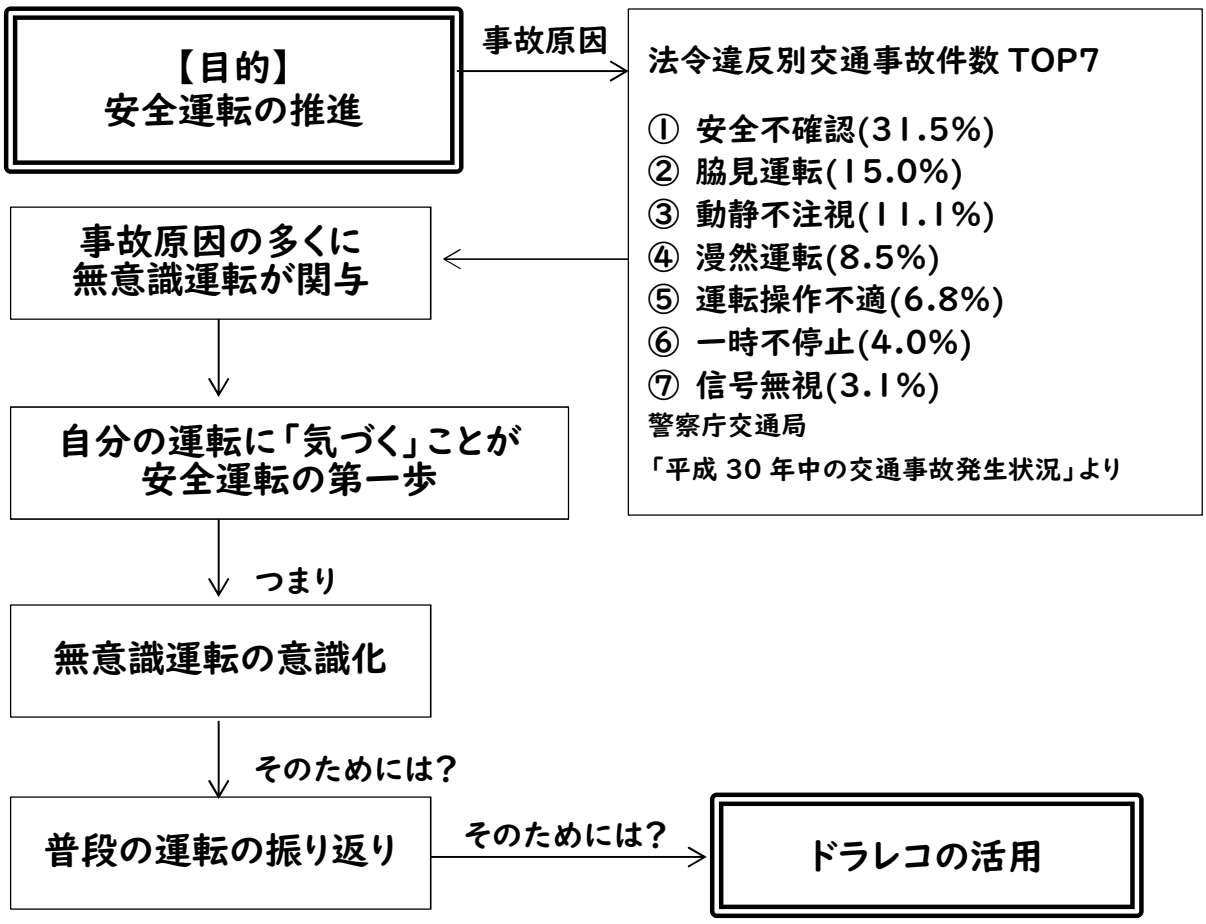
1. 研究目的と着想

目的：無意識運転の意識化と自発的安全運転意識の喚起による安全運転行動の定着

「他人からの指摘はなかなか素直には受け入れない」というのは人の性(さが)でもあります。
このことは自動車の安全運転教育にも当てはまるのではないでしょうか。
昨今、高齢者の免許返納問題がクローズアップされていますが、この件についても、高齢者本人が納得しない以上、円満な免許返納にたどり着くのは難しいという課題がありました。
また、これまでも安全運転教育では事故事例や正しい運転の仕方などの教育コンテンツが小冊子や映像、機器による検査などと研究開発され実践されてきましたが、いくらこうした安全運転講習を受講しても馬耳東風の受講態度ではその効果も薄らいでしまいます。
一方、教育業界やスポーツ業界では「アクティブラーニング（能動的学習)」や「コーチング」などの自発的学習技法や態度変容技法が注目を浴びるようになり、本人の「やる気」を引き出すアプローチが主流となっています。
さらに、これまで当ＮＰＯ法人　安全と安心　心のまなびばでは、家族や学校、地域、会社組織などの小単位での人間関係を活用した教育効果(信頼関係のある身近な人同士による対話を通じた行動変容の促進効果）について研究と実践がなされてきました。
こうしたことから、安全運転教育においても視点を変え、他者から教えられるのではなく、小単位での人間関係も活用して本人自身の「気づき」を促すことによる「安全運転行動の定着」という教育手法の研究開発に取り組むこととしました。
そして、その本人の「気づき」を促すためのツールとして、近年普及が進んでいるドライブレコーダー（マルチカメラタイプ）の活用に着目することとなりました。
つまり、「ドライブレコーダーの録画映像を用いて、自己の運転を見直す機会を提供し、小単位での人間関係による対話を通じて、普段の安全運転意識を喚起させる手法の設計・実践」（以下、「当事業」）について、３か年計画で取り組むこととなりました。



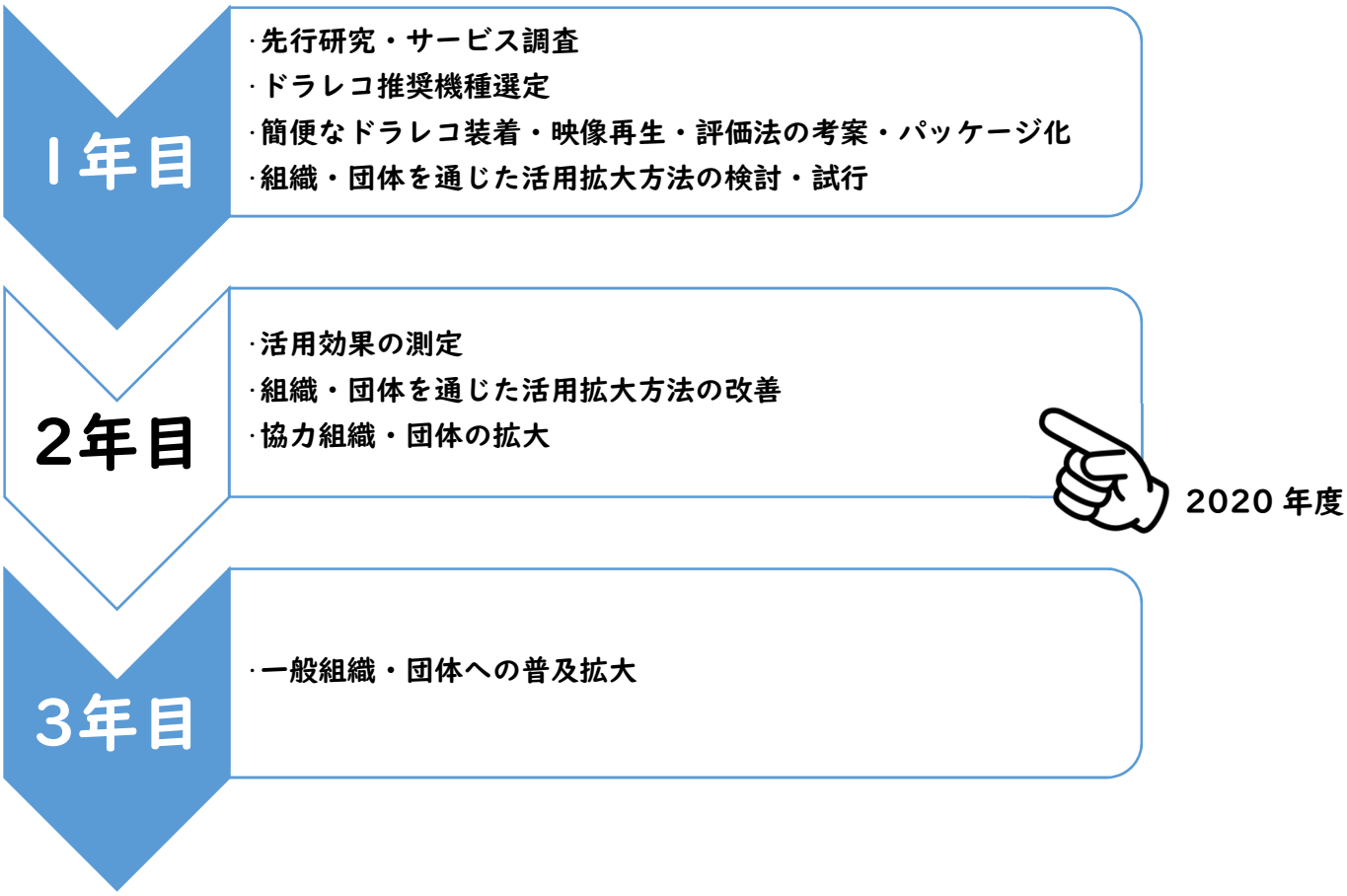
【ドラレコ活用による安全運転推進の概念図】



【ドラレコ活用のメリット・デメリット】

メリット	デメリット
● 自分の運転を映像として客観視できる。 ● 他者評価が得られる。 ● 「見られる」と思うことで身をただす。（他者の目効果）	● 現在のドラレコ利用目的が事故時の証拠映像にとどまっている。 ● ドラレコの装着や映像再生方法が面倒＆分からない。 ● ドラレコ活用の行動変容効果に関する研究はまだない。

2. 3か年でのスケジュール

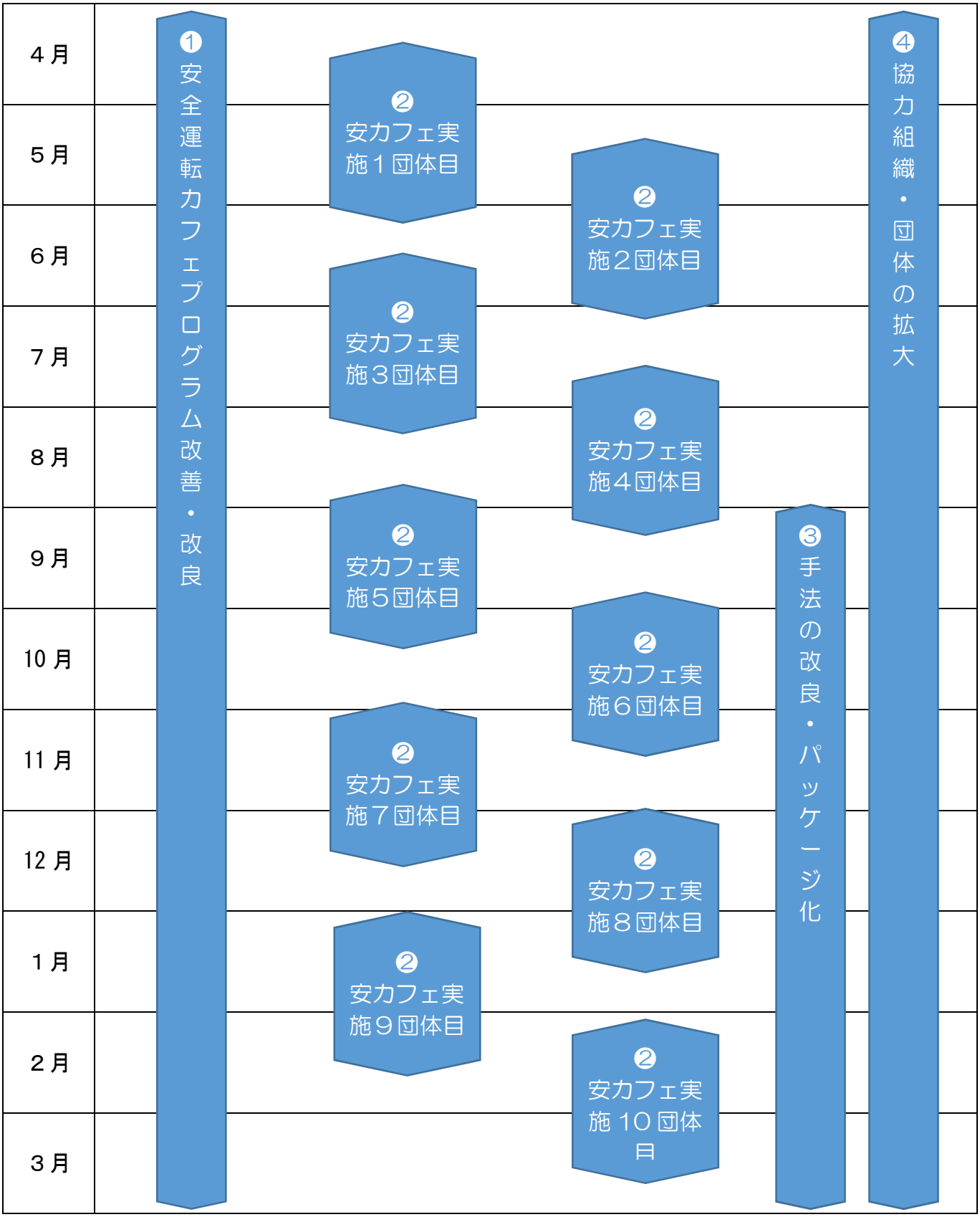


1年目となる2019年度では、①ドライブレコーダーを用いた運転行動の安全チェックなどの先行研究や既存サービスの情報収集を行うとともに、②当事業の目的や目標の設定、③使用するドライブレコーダーの機種選定、④ドライブレコーダー車載方法の研究、⑤映像評価項目の検討、⑥教育効果測定指標の検討、⑦安全運転教育プログラム（通称「安全運転カフェ」）の開発・改良、⑧安全運転カフェの試行、⑨安全運転カフェの実施（計画5団体計15人以上→実績：6団体16人）、⑩安全運転カフェの組織や団体を通じた活用拡大方法の検討、などに取り組みました。

2年目となる本年度では、①安全運転教育プログラムの改善・改良、②安全運転カフェの実施による効果データの収集（10団体計30人以上）、③様々な団体組織（家族や企業、地域組織など）で導入してもらえるよう手法の改良とパッケージ化を進める、④協力組織・団体の拡大、などに取り組みます。

さらに3年目では、各種団体組織の特徴に応じたアプローチ法の開発と組織・団体への普及拡大を図る予定です。

3. 2 年目（２０２０年度）での取り組み



3-①　安全運転教育プログラムの改善・改良

3-①-1　目的・目標・手段・成果目標

本安全運転教育プログラム開発の目的・目標・手段・成果目標については昨年度から引き続き以下に示すものです。

【目的】無意識運転の意識化と自発的安全運転意識の喚起による安全運転行動の定着

【目標】安全運転カフェの参加拡大と教育効果の定着

【手段】

ドライブレコーダー（マルチタイプ）を活用し、運転者自身が自身の運転映像を見る機会を設けることにより、身近な人との対話を通じて、自身の運転の「くせ」や「危険行動」に気づき、自発的な安全運転意識を喚起させ、日常での安全運転行動につなげるよう支援する。

【成果目標】

１年目：ア．安全運転教育プログラム（通称「安全運転カフェ」）の開発
　　イ．安全運転カフェの実施（５団体計 15 人以上）

２年目：ア．安全運転カフェの実施による効果データの収集
（10 団体計 30 人以上）
　　イ．安全運転カフェのパッケージ化（普及版の開発）

2020 年度

３年目：ア．各種団体組織の特徴に応じたアプローチ法の開発
　　イ．組織・団体への普及拡大

3-①-2　安全運転教育プログラム及び安全運転カフェの流れ

我々が研究開発を進めている安全運転教育プログラム（以下「本プログラム」）では、運転終了後に運転者本人及びギャラリーが、モニターに映される運転行動記録を観ながら気楽な振り返りをし、互いに学び合う場を「安全運転カフェ」と名付けています。

本プログラム及び安全運転カフェの一般な流れを示しておきます。

3-①-2-1　安全運転教育プログラムの流れ

本プログラムは、ドライブレコーダー（以下「ドラレコ」）の取り付けから事後評価の記入までの５つの段階に分かれ、協力者１人あたり約１か月半程度の期間を想定しています。この流れは昨年と変わりありません。

【安全運転教育プログラム全体の流れ】

段階	実施内容	所要時間	前段階からの経過時間
1	・協力者募集 ・ドラレコ取り付け承諾	約15分間	－
2	・書類記入 ・ドラレコ取り付け	約1時間	－
3	・安全運転カフェ　1回目開催	約2時間	約1週間後
4	・安全運転カフェ　2回目開催 ・ドラレコ取り外し	約2時間	約1週間後
5	・事後評価記入	約5分間	約1か月後

3-①-2-2　安全運転カフェの流れ

安全運転カフェでは、ドラレコの録画映像を用いて、運転者自身が自己の運転映像を見る機会を設け、少人数単位での人間関係の場におけるフランクな対話を通じた振り返りと忌憚のない意見交換を行います。

安全運転カフェの流れも昨年度と大きな違いはありませんが、細かな部分では改良を加えました。

安全運転カフェは、ドラレコの取り付けから約１週間後に１回目を開催します。参加者は運転者本人（複数人の場合もある）を中心として、家族や職場仲間にも運転者本人同意のもと、自由参加を促しました（以下、「ギャラリー」）。

最初に「安全運転教育プロジェクト」や「安全運転カフェ」の趣旨説明を行い、運転者に現時点での自己評価を求めました。次にデモ映像による録画映像の見方を練習し、運転者本人の録画映像を２回再生しました。デモ映像の再生の際、「くせ」が出

現しやすい「チェックポイント一覧」とプリテストで得られた「くせ一覧表」を提示しました。

再生１回目は運転者本人が発見した「くせ」を表明し、再生２回目では、ギャラリーも加わって意見交換をします。その際、決して荒さがしをしたり「悪い点」を指摘したりすることなく、むしろ模範となる良い点を見つけることを奨励する方針を採用しました。

こうして「安全運転カフェ」での「気づき」と「学び合い」が、日常での運転者の無意識的運転を意識的運転に換えるよう工夫しました。

「安全運転カフェ」は，その後約１週間の間隔を空けて第２回目を実施して終了となります。

【安全運転カフェの流れ】

	実施内容	所要時間
1	・「安全運転カフェでのルール」を読み上げ確認	約15分間
2	・運転者による自己評価表への記入	約5分間
3	・デモ映像にて録画映像の見方練習 ・「チェックポイント一覧」と「くせ一覧」を提示	約15分間
4	・運転者本人の録画映像再生（1回目） ・運転者本人のみ「くせ」を表明	約15分間
5	・運転者本人の録画映像再生（2回目） ・運転者本人以外からも示唆を行う	約15分間
6	・振り返り ・連絡や確認	約5分間

※「4」と「5」は各運転者の人数分実施

【昨年度（2019 年度）からの改善点】

ア．足下カメラの活用
イ．自己評価シートの改良
ウ．デモ映像の改良
エ．くせの「チャックポイント一覧」と「くせ一覧表」を新たに提示
オ．「くせ」の買い取り制度
カ．録画映像の２回再生

3-①-2-ア　足下カメラの活用

3-①-2-ア-1　足下カメラの活用背景

我々が研究開発を進めている安全運転教育プログラム（以下「本プログラム」）の最たる特徴は「足下カメラ」を活用している点にあると言えます。

自動車を運転する際には操作･旋回系と駆動･制御系のコントロールがあり、操作･旋回系は主に上肢が司り、安全確認や方向・旋回制御を担っています。

また、駆動・制御系では主に下肢が司り、走行・制止制御を担っています。

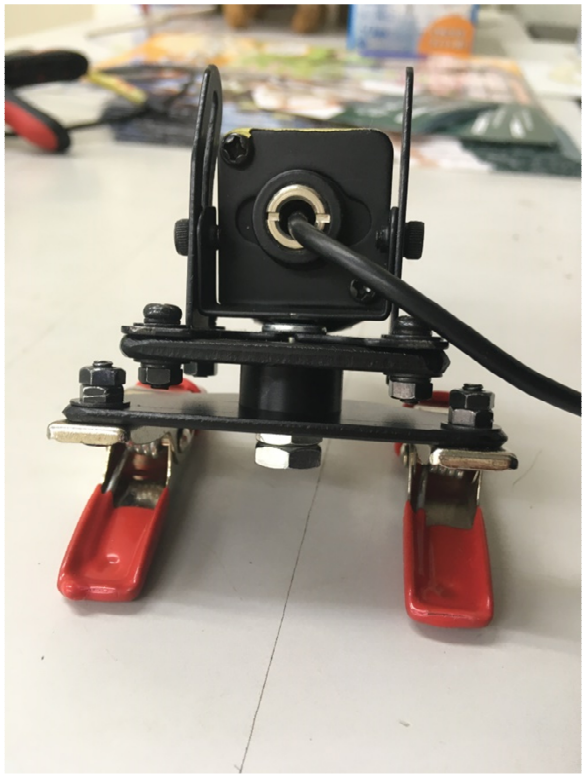
一見、安全運転には上肢が司る操作・旋回系が重要と思われがちですが、実は、動いていない車は交通事故のリスクが少ないことを考えれば、駆動・制御系を司っている下肢が重要であることに気づきます。

本プログラムでは、運転者の「無意識運転」をいかにして「意識運転」に変え、安全運転行動を増やすかがポイントとなりますが、その際、特に無意識な操作になりがちな駆動・制御系（すなわち下肢）での動作を記録し、運転者自身が無意識運転に気づくことを支援するために「足下カメラ」の設置にこだわりました。

そのため、「足下カメラ」が設置しやすくなるようカメラ台座にクリップを装着するなどの改善を行いました。

また、「足下カメラ」の録画映像を観る際には、特に、前進操作・制御及び後退操作・制御に分けて注目するように促しました。

【クリップ装着改善した足下カメラ】



3-①-2-ア-2　足下カメラ画像で観察される無意識のクセ

足下カメラの録画映像から観察される無意識のくせを分類すると以下のようなものが挙げられます。

ア．履物の種類
イ．下肢のベースポジション
ウ．（狭小や飛び出し可能性など高リスク走行環境での）ブレーキ準備動作の有無
エ．（発進時・後退時等での）クリープ活用の有無
オ．サイドブレーキ使用の有無
カ．様々な走行環境（市街地、郊外、高速道、渋滞、車庫入れ、パーキング駐車（前進＆後退)、坂道発進など）での下肢動作

このような観点から足下カメラの録画映像を運転者とともにチェックし､運転者が無意識動作に気づくよう支援します。

こうしたなかで、昨今、高齢ドライバーの事故原因として注目されている「アクセルとブレーキの踏み間違い」現象の原因究明へのヒントが観察されるかもしれないと期待していました。

3-①-2-ア-3　安全運転カフェ 2020 での足下映像の意識化方策

安全運転カフェにおいて､協力者が録画映像を観る際には次のような声掛けをすることによって、足下カメラの録画映像に協力者の意識が向くよう工夫しました。

【声掛け例】

ア．（録画映像を見る前に）アクセルとブレーキの踏み間違いなどの経験はありますか？
イ．（録画映像を見る前に）履物には何かこだわりがありますか？
ウ．（録画映像を見る前に）普段足の位置はどのようにしているか思い出せますか？
エ．右足がアクセルやブレーキを踏む際には、人によって大きく２通りに分類されるようです。それが､「かかとが床に付く派」と「かかとが床から浮く派」です。あなた自身は、どちらだと思いますか？
オ．（高リスク走行環境の場面において）前走行車の急ブレーキや横道からの飛び出しなどへの対応準備にはどのようなことを心がけていますか？

3-①-2-イ　自己評価シートの改良

これまでの安全運転カフェで得られた結果を評価していくなかで、アクセルやブレーキなど下肢動作の意識化に関連するものとして「クリープの活用」にも注目しました。

そこで 2020 年度の途中からは、自己評価シートの評価項目としてそれまでの５項目に加えて、「クリープを活用した滑らかな運転をしている」を追加して６項目としました。また、それ以外にも、事故歴やアクセル・ブレーキペダルの踏み間違え経験などを追加し、自己評価シートとしては２枚つづりになりました。

【自己評価シート Ver.2019】

ふりがな お名前：	ご年齢： 歳
ご職業・所属：	運転歴： 年
運転頻度： ほぼ毎日・週 3～5 日・週 1～2 日・月 1～4 日・あまりない	車種：

ドラレコ活用効果

5 件法（5.よくしている　4.している　3.普通　2.あまりしていない　1.していない）

	チェック項目	前 （　　）	中 1 （　　）	中 2 （　　）	後 （　　）
1	安全運転を意識している				
2	意識して安全確認動作をしている				
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている				
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている				
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている				

【自由回答 1】自分の運転映像をみて、どんなことに気づきましたか？

・

・

【自由回答 2】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

・

・

【自由回答 3】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

・

・

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

・

【改善した自己評価シート Ver.2020　1 枚目】

ふりがな お名前：	ご年齢： 歳
ご職業・所属：	運転歴：　年
運転頻度： ほぼ毎日・週 3～5 日・週 1～2 日・月 1～4 日・あまりない	車種：
	シートベルト警告音： 有　・　無

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近		
1 つ前		
アクセルとブレーキ踏み間違え経験		なし あり（具体的に：　）

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている　4.している　3.普通　2.あまりしていない　1.していない）

	チェック項目	前（　）	中 1（　）	中 2（　）	後 1（　）	後 2（　）
1	安全運転を意識している					
2	意識して安全確認動作をしている					
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている					
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている					
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている					
6	クリープを活用した滑らかな運転をしている					

1 回目の評価である「前」への評価点記入に際しては、その後の（「中 1」～「後 2」での）評価の変化の可能性に備え、「2」～「4」の 3 段階での評価点数を付けることをお薦めします。（「中 1」以降で「1」や「5」などの変化した評価点がつけられるようにするため。例えば、「前」で評価点「5」を付けてしまうと、その後いくら運転意識が向上しても評価点「5」を付けるしかなく、向上したという変化が示せない。）

【改善した自己評価シート Ver.2020　2 枚目】

あなたの「くせ」をお売りください!!!

自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
気づいた「自分のくせ」を下の表に書き込んでください。くせ 1 種類につき 500 円で買い取ります。（上限 10 種類）

	くせの内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

【自由回答 1】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

・
・
・
・

【自由回答 2】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

・
・
・
・

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

・

3-①-2-ウ　デモ映像の改良

2019 年度では、我々が作成した 15 分間程度の良いくせ・悪いくせのデモ映像を活用して、自身の録画映像を見てくせに気づくための練習としていました。しかし、2019 年度での安全運転カフェ開催実績の進展にともなって、作り物ではない本物のくせ映像が多数集まってきました。そこで、協力者の了解のもと、これらの映像を再編集してデモ映像としました。

【デモ映像 Ver. 2019】

【デモ映像 Ver. 2020】

3-①-2-エ　くせの「チェックポイント一覧」と「くせ一覧表」を新たに提示

デモ映像の改善と同様に、2019 年度での安全運転カフェ開催実績の進展にともなって、作り物ではない本物のくせ映像が多数集まってきましたことから、このくせの内容を分析、分類し、よく見られるくせの種類と起こりやすい状況をまとめ、録画映像を見て自身のくせを発見しやすくするため「チェックポイント一覧」と「くせ一覧表」を作成し、デモ映像による見方練習のときから提示しるようにしました。

【チェックポイント一覧】

チェックポイント

状況	観測点	カメラ
走行時	運転姿勢（ハンドル持ち方）	運転者・ハンドル
	運転姿勢（座席位置）	運転者・ハンドル
	運転姿勢（足の位置）	足下
	運転姿勢（ペダル裁き）	足下
	ブレーキ準備	足下
	ダッシュボードへの物置	ハンドル
	車間距離	前方・運転者（後方）
	余裕ブレーキ	前方・足下
	脇見運転（外部・同乗者との会話・スマホ）	運転者
	走行位置	前方・運転者（側方・後方）
渋滞時	車間距離	前方・運転者（後方）
	運転姿勢（ペダル裁き）	足下
狭小道路	ブレーキ準備	足下
発進時	シートベルト	運転者
	クリープ活用	足下
右左折時	安全確認（首振り・ミラー）	運転者
	運転姿勢（ハンドル持ち方）	運転者・ハンドル
	進路ショートカット	前方
車線変更時	安全確認（首振り・ミラー）	前方・運転者・ハンドル
後退時	後方確認（首振り・ミラー・バックモニター）	運転者
一時停止	完全な一時停止	前方・運転者・ハンドル・足下
駐車時	前向駐車・後ろ向き駐車	前方・運転者
	フットブレーキ活用	足下
スマホ・携帯	スマホ・携帯操作	運転者
高速走行時		
雨天時		
夜間		

【くせ一覧表】

くせ一覧

【良いくせ】	
安全確認	・身を乗り出しての意識的な安全確認
安全確認	・複数回の念を入れた意識的な安全確認
危険準備	・ブレーキに備えた足の位置（ブレーキ準備動作ができている）
安全確認	・進路変更前や右左折前に目視での安全確認
円滑走行	・走り始めはクリープを利用
【注意すべきくせ】	
ながら運転	・走り出してからの安全ベルト装着
ながら運転	・スマホなどの脇見（前方不注意）
運転姿勢	・片手運転
運転姿勢	・余裕のない（前のめりやのけぞりすぎなど）運転姿勢
安全確認	・首を振らず、視線だけでの安全確認
安全確認	・感覚だけ（安全確認せずの）車線変更
法令順守	・不完全な一時停止
漫然運転	・同乗者と会話中の無意識運転
漫然運転	・意識運転しているつもりになった不完全運転
漫然運転	・夜になると集中力が落ちている（無意識運転になっている）
安全確認	・左折時の安全確認遅れ
危険準備	・ブレーキング間際での足のペダル移動（ブレーキ準備動作がない）
危険準備	・高齢者や子どもの横徐行せず
法令順守	・交差点右折時のショートカット
法令順守	・左車線からの追い越し
危険準備	・バスの発車を待たずにすり抜け
安全確認	・バック時に後方確認しないか遅れて確認する
運転環境	・ダッシュボードに物を置く
安全確認	・バック時のシフト未確認

3-①-2-オ　「くせ」の買い取り制度

2019 年度では協力者への謝礼として一律に 2,000 円分のＱＵＯカードをお渡ししていました。しかし、自身のくせを見つけようというモチベーションに寄与することも考えあわせ、見つけた「くせ」（良いくせ、悪いくせ両方含む）を 1 種類（同種のものは 1 種類とカウント）につき 500 円分（ＱＵＯカード）、10 種類（5,000 円分）を上限としてお支払いするという「くせ」の買い取り制度に変更しました。

ただし、この買い取り制度は謝礼の代わりであるため、今後、各事業所や地域団体、家族などがこの安全運転教育プログラムを導入していった際には、この買い取り制度自体の実施について目的も含め検討する必要があると思われます。

【「くせ」の買い取り制度】

あなたの「くせ」をお売りください!!!

自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
気づいた「自分のくせ」を下の表に書き込んでください。くせ 1 種類につき 500 円で買い取ります。（上限 10 種類）

	くせの内容
1	発進してからシートベルトをする
2	座る位置が 左より
3	しっかり 安全確認 している
4	TV を 見すぎている
5	10:10 分 のハンドル の 持ち方が できている
6	車間きょりを しっかりとっている
7	
8	
9	
10	

3-①-2-カ　録画映像の２回再生

安全運転カフェでの運転者自身の録画映像について、2019 年度では１つのシーンにつき、運転者本人とファシリテーター（進行役：本プロジェクトの場合は天野）、ギャラリー（運転者同意のもと）が一緒に見ながら気づいた点を述べ合う形式をとっていましたが、2020 年度では、１つのシーンについて２回再生するように変更し、１回目の再生時は運転者本人だけが「気づき」を表明し、２回目の再生時にファシリテーターやギャラリーも意見を述べるように変更しました。

これにより、運転者本人の「気づき」と他者支援があった「気づき」とを区別し、できる限り、運転者本人の「気づき」が増えるよう注力することができるようになりました。

【2019 年度】

・再生回数１回
・全員で一緒に意見を出し合う

【2020 年度】

・再生回数２回
・１回目は運転者本人だけ「気づき」を表明
・２回目は全員で一緒に意見を出し合う

3-②　安全運転カフェ 2020 実施報告

2020 年度はコロナ禍により、緊急事態宣言の発出や他者との接触を極力減らすなどの対策から、本プログラムへの協力を得ずらい状況となりました。そうしたなかでも、2020 年６月から 2021 年２月にかけて、７団体計９人から参加協力を得ることができました。

各実施結果および集計結果を以下に示します。

3-②-1　2021-1 団体目（累計７団体・17 人目）

【7 団体・17 人目】

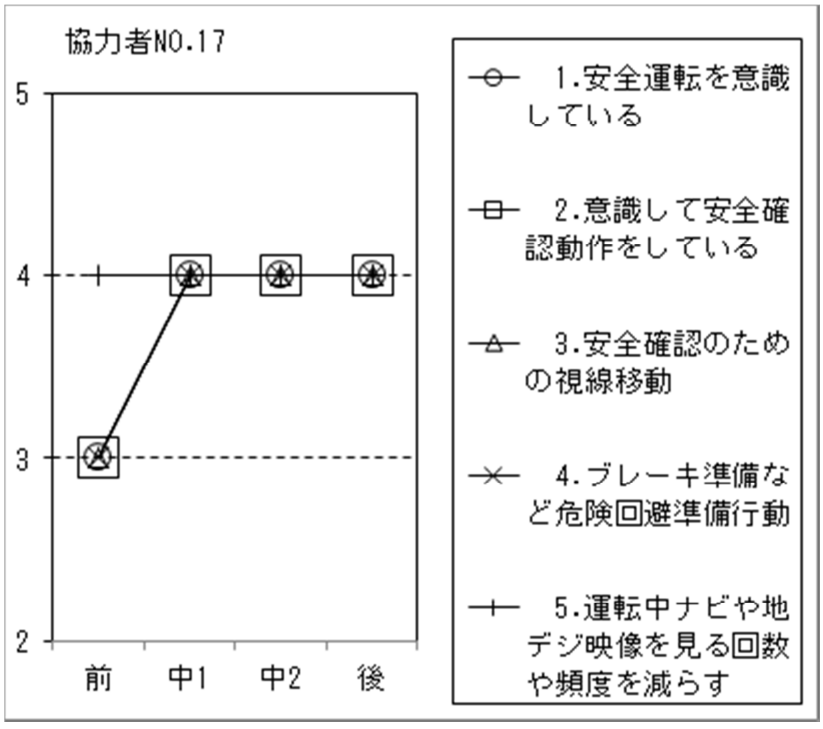
団体名	協 NO.17　様							
実施場所	岡山市立宇野小学校内コミュニティセンター							
実施日	DR 取付：2020/06/26　　1 回目：2020/07/3　　2 回目：2020/07/10							
協力者名	協 NO.17							
年齢	70							
所属・職業	連合町内会長							
運転歴	54 年							
運転頻度	ほぼ毎日							
車種	オデッセイ							
事故歴（直近）	4 年前：スピード 31km/hオーバー							
事故歴（1 つ前）	－							
DR 機種	4 カメ⑨							
効果測定	事前	1 回目	2 回目	取外し後	事前	1 回目	2 回目	取外し後
	6/26	7/3	7/10	3/12				
1.安全運転を意識している	3	4	4	4				
2.意識して安全確認動作をしている	3	4	4	4				
3.安全確認のための視線移動の頻度	3	4	4	4				
4.ブレーキ準備など危険回避準備行動の有無	3	4	4	4				
5.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす	4	4	4	4				

協力者名	協 NO.17	
自由回答 1 気づき（自分）	○よそ見と一時停止は特に気を付けていた。	
自由回答 2 他者学習		
自由回答 3 変化	−	
目標	−	

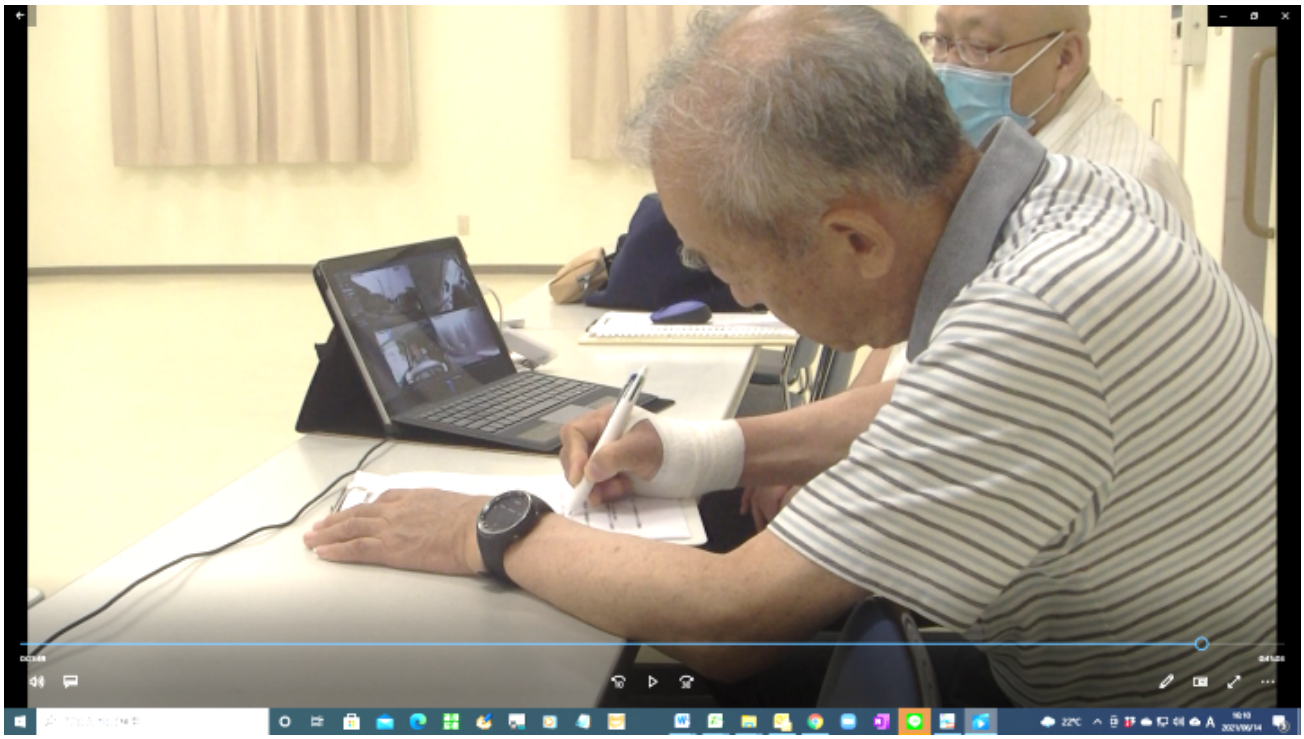
・所見

- あまりくせのない運転。
- ほぼ毎日運転しているが、日常的には近所周りしか運転していない。移動距離も少ない。
- 取り付けたカメラがずっと気になっていた様子。
- 安全確認を意識しすぎると死角が生じるとのこと。

・協 NO.17 の自己評価結果



・安全運転カフェ７団体目



・協 NO.17 の録画映像

・協 NO.17 の自己評価シート

⑨

ふりがな お名前：	協NO.17	ご年齢： 70 歳
ご職業・所属：	宇野学区連合町内会	運転歴： 54 年
運転頻度： ほぼ毎日・週 3～5 日・週 1～2 日・月 1～4 日・あまりない		車種： スチームセイ

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近		
1 つ前	4年前	スピード 3キロオーバー

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている　4.している　3.普通　2.あまりしていない　1.していない）

	チェック項目	前 (6/26)	中1 (9/3)	中2 (9/10)	後1 (3/12)	後2 (　)
1	安全運転を意識している	3	4	4	4	
2	意識して安全確認動作をしている	3	4	4	4	
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	3	4	4	4	
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	3	4	4	4	
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	4	4	4	4	

【自由回答 1】自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？

・特にない。よそみと、一時停止は、特に気を付けた。

・

【自由回答 2】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

・特にない。

・

【自由回答 3】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

・

・

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

・

3-②-1　2021-2 団体目（累計８団体・18・19 人目）

【8 団体・18・19 人目】

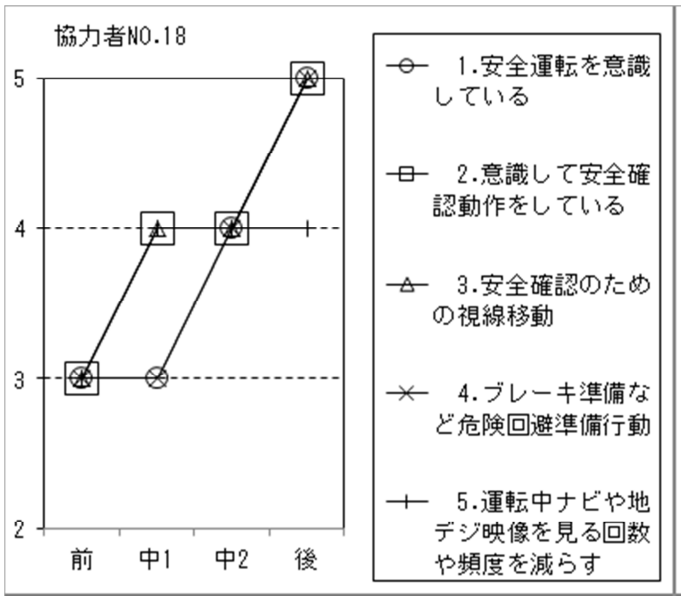
団体名	ご夫婦							
実施場所	ご自宅							
実施日	DR 取付:2020/09/05　　1 回目:2020/09/12　　2 回目:2020/09/19							
協力者名	協 NO.18				協 NO.19			
年齢	55				43			
所属・職業	会社員				自営業			
運転歴	37 年				25 年			
運転頻度	ほぼ毎日				ほぼ毎日			
車種	ヴォクシー				ヴォクシー			
事故歴(直近)	2015:交差点内対向右折車との接触				7 年前くらい:前の車が急ブレーキで追突			
事故歴(1 つ前)	2014:高速道路で猪と接触				24 年前:カーブを曲がり切れず対向車線にはみ出し対向車と接触			
DR 機種	4 カメ⑨				4 カメ⑨			
効果測定	事前	1 回目	2 回目	取外し後	事前	1 回目	2 回目	取外し後
	9/5	9/12	9/19	3/6	9/5	9/12	9/19	3/6
1.安全運転を意識している	3	3	4	5	4	5	5	5
2.意識して安全確認動作をしている	3	4	4	5	3	4	5	5
3.安全確認のための視線移動の頻度	3	4	4	5	4	4	5	5
4.ブレーキ準備など危険回避準備行動の有無	3	3	4	5	3	3	5	5
5.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす	3	4	4	4	4	5	5	5

協力者名	協 NO.18	協 NO.19
自由回答 1 気づき（自分）	○ハンドルを持つ位置が下過ぎる。 ○前走車との車間距離が近い。 ○一時停止できっちりとは止まっていない。	○安全確認は意識していた。 ○ハンドルを持つ手が下の方。 ○一時停止が完全に止まれていないことがある。 ○シートポジションが正しいか不安。
自由回答 2 他者学習	○左右をよく確認している。 ○ハンドルをしっかり持っている。	○歩行者が横断しようとしたときに早く気づけるように自分も気を付ける。
自由回答 3 変化	○周囲の安全確認をするようになった。	○巻き込み確認など更に気を付けるようになった。 ○姿勢や座る位置を再確認している。
目標	○適格な操作	○安全確認を怠らないこと ○一時停止できちんと止まり切る

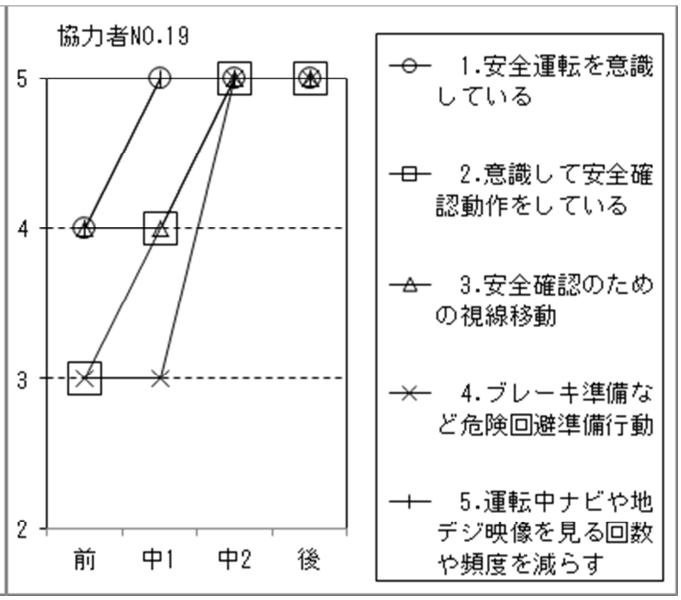
・所見

- 夫婦で 1 台の車を使用している。
- 協 NO.18（夫）は運転中も様々なところ（前後左右）を見ている。
- 協 NO.18（夫）は話好きで運転中も終始話をしている。
- 協 NO.19（妻）は子どもの送迎で狭小路を通行することが多い。

・協 NO.18 の自己評価結果



協 NO.19 の自己評価結果



・安全運転カフェ８団体目

・協 NO.18 の録画映像

・協 NO.19 の録画映像

・協 NO.18 の自己評価シート

⑨

ふりがな お名前：	協NO.18	ご年齢：	55 歳
ご職業・所属：	完	運転歴：	37 年
運転頻度： ほぼ毎日・週3～5日・週1～2日・月1～4日・あまりない		車種：	ヴォクシー、バッテリー有

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近	2015	右直、交差点内、こちらは直進
1つ前	2014	高速道で猫出

踏み間違いなし

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている　4.している　3.普通　2.あまりしていない　1.していない）

	チェック項目	前 (9/5)	中1 (9/12)	中2 (9/19)	後1 (3/6)	後2 ( )
1	安全運転を意識している	3	3	4	5	
2	意識して安全確認動作をしている	3	4	4	5	
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	3	4	4	5	
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	3	3	4	5	
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	3	4	4	5	

【自由回答 1】自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
- ハンドル（両手で持つ位置）　止まらない
- つめる（前の車との車間を）　止まらない

【自由回答 2】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？
- 左右をよく確認している
- ハンドルをしっかり持っている

【自由回答 3】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？
- 周囲の安全確認

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。
- 適格な操作

・協 NO.19 の自己評価シート

⑨

ふりがな お名前：	協NO.19	ご年齢：	43 歳
ご職業・所属：	自営業	運転歴：	25 年
運転頻度： ほぼ毎日・週3～5日・週1～2日・月1～4日・あまりない		車種：	ヴォクシー

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近	7年前くらい	前の車が急ブレーキをふんでいい、おかましました
1つ前	24年前	大きなカーブを曲がりきれず対抗車と接触

踏み間違いなし

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている　4.している　3.普通　2.あまりしていない　1.していない）

	チェック項目	前 (9/5)	中1 (9/12)	中2 (9/19)	後1 (3/7)	後2 ( )
1	安全運転を意識している	4	5	5	4	
2	意識して安全確認動作をしている	3	4	5	5	
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	4	4	5	4	
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	3	3	5	5	
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	4	5	5	4	

【自由回答 1】自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
- 安全カクニンは意識していた
- 一時停止が完全に止まれていないことがある
- ハンドルを持つ位置が下の方
- シートポジションが正しいのか？

【自由回答 2】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？
- 歩行者が横断しようとした時に、早く気づけるように、今後も気をつける

【自由回答 3】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？
- 余計に、巻き込みカクニン等を気をつけるようになりました
- 姿勢や、すわる位置を再カクニンしてみる

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。
- 安全カクニンをおこたらないこと
- 一時停止できちんと止まりきること

3-②-1　2021-3 団体目（累計９団体・20 人目）

【9 団体・20 人目】

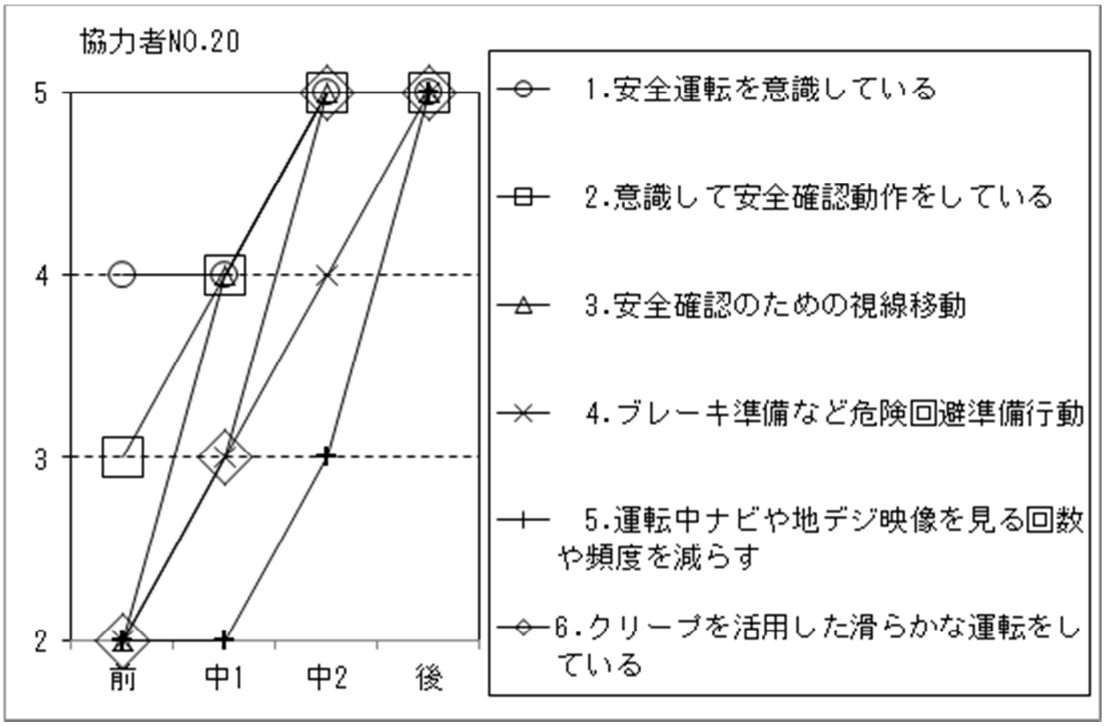
団体名	保険事務所							
実施場所	会社事務所							
実施日	DR 取付:2020/12/8　　1 回目:2020/12/15　　2 回目:2020/12/21							
協力者名	協 NO.20							
年齢	40							
所属・職業	会社事務							
運転歴	22 年							
運転頻度	ほぼ毎日							
車種	プリウス							
事故歴(直近)	6 か月前:自宅から出る際、左サイドが門扉にこする							
事故歴(1 つ前)	10 年前:後退中に駐車中の車にぶつける							
ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ警告音	あり							
踏み間違え経験	なし							
DR 機種	4 カメ⑨							
効果測定	事前	1 回目	2 回目	取外し後	事前	1 回目	2 回目	取外し後
	12/8	12/15	12/21	2/16				
1.安全運転を意識している	4	4	5	5				
2.意識して安全確認動作をしている	3	4	5	5				
3.安全確認のための視線移動の頻度	2	4	5	5				
4.ブレーキ準備など危険回避準備行動の有無	2	3	4	5				
5.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす	2	2	3	5				
6.クリープを活用した滑らかな運転をしている	2	3	5	5				

協力者名	協 NO.20	
発見したくせ	1.発信してからシートベルトをする 2.座る位置が左寄り 3.しっかり安全確認している 4.TV を見すぎている 5.10:10 のハンドルの持ち方ができている 6.車間距離をしっかりとっている	
自由回答 1 他者学習		
自由回答 2 変化	○より安全確認をするようになった。	
目標	○引き続き安全運転を意識する。 ○ながら運転をやめる	

・所見

- つい先日、車を新しく（プリウス）したばかり。
- 圧迫されるのが嫌でシートベルトはわざと緩く締めている。
- 車間距離は十分にとれている。
- 走り始めてから（家を出て団地内）シートベルトを締めている。

・協 NO.20 の自己評価結果



・安全運転カフェ９団体目

・安全運転カフェ９団体目　協 NO.20 の録画映像

・協 NO.20 の自己評価シート

ふりがな お名前：	協NO.20	ご年齢：	40 歳
ご職業・所属：		運転歴：	22 年
運転頻度： (ほぼ毎日)・週3～5日・週1～2日・月1～4日・あまりない		車種：	プリウス
		シートベルト警告音： (有)・無	

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近	6か月前.	自宅から出る際、左折と同時にこする.
1つ前	10年前	後退中に駐車中の車にぶつける
アクセルとブレーキ踏み間違え経験		(なし) あり（具体的に： ）

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている 4.している 3.普通 2.あまりしていない 1.していない）

	チェック項目	前（12/8）	中1（12/15）	中2（12/21）	後1（2/26）	後2（ ）
1	安全運転を意識している	4	4	5	5	
2	意識して安全確認動作をしている	3	4	5	5	
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	2	4	5	5	
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	2	3	4	5	
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	2	2	3	5	
6	クリープを活用した滑らかな運転をしている	2	3	5	5	

1回目の評価である「前」への評価点記入に際しては、その後の（「中1」～「後2」での）評価の変化の可能性に備え、「2」～「4」の3段階での評価点数を付けることをお薦めします。（「中1」以降で「1」や「5」などの変化した評価点がつけられるようにするため。例えば、「前」で評価点「5」を付けてしまうと、その後いくら運転意識が向上しても評価点「5」を付けるしかなく、向上したという変化が示せない。）

あなたの「くせ」をお売りください!!!

自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
気づいた「自分のくせ」を下の表に書き込んでください。くせ1種類につき 500 円で買い取ります。（上限 10 種類）

	くせの内容
1	発進してからシートベルトをする
2	座る位置が左より
3	しっかり安全確認している
4	TVを見すぎている
5	10に10分のハンドルの持ち方ができている
6	車間きょりをしっかりとっている
7	
8	
9	
10	

【自由回答1】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

【自由回答2】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

- より安全確認をするようになった

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

- 引き続き安全運転を意識する
- ながら運転をやめる

3-②-1　2021-4 団体目（累計 10 団体・21 人目）

【10 団体・21 人目】

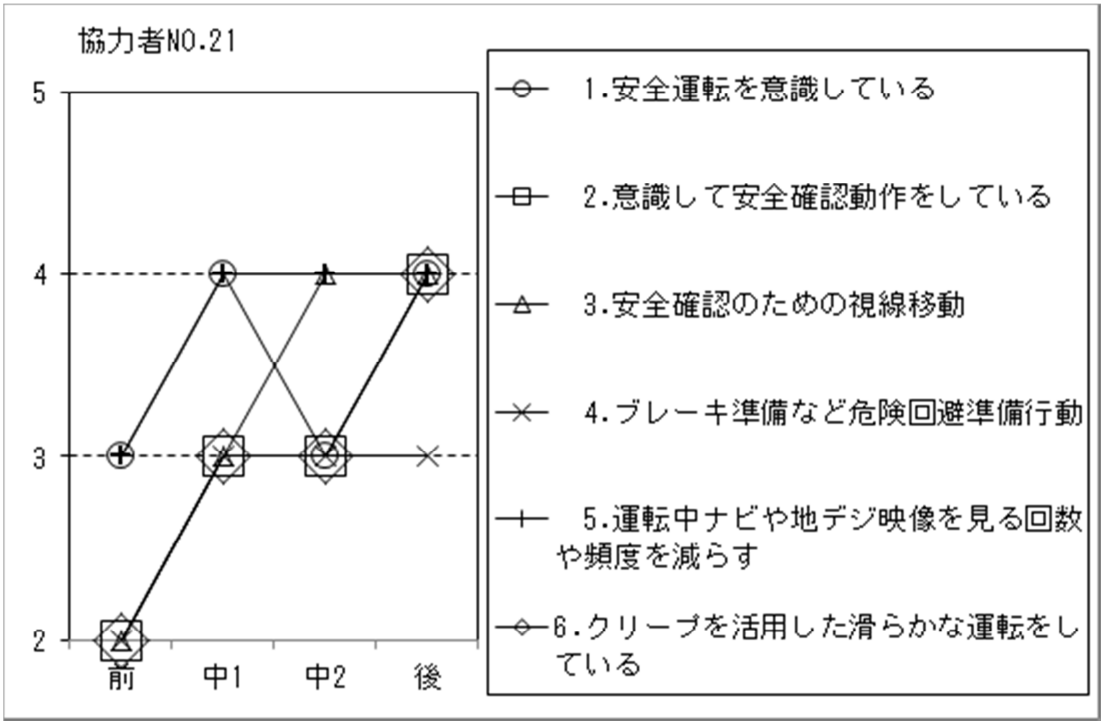
団体名	自動車修理･販売会社							
実施場所	会社事務所							
実施日	DR 取付:2020/12/13　　1 回目:2020/12/18　　2 回目:2021/1/6							
協力者名	協 NO.21							
年齢	73							
所属･職業	自動車修理･販売会社経営							
運転歴	53							
運転頻度	ほぼ毎日							
車種	ワゴンR							
事故歴(直近)	なし							
事故歴(1 つ前)	なし							
ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ警告音	あり							
踏み間違え経験	なし							
DR 機種	4 カメ③							
効果測定	事前	1 回目	2 回目	取外し後	事前	1 回目	2 回目	取外し後
	12/13	12/18	1/6	2/17				
1.安全運転を意識している	3	4	3	4				
2.意識して安全確認動作をしている	2	3	3	4				
3.安全確認のための視線移動の頻度	2	3	4	4				
4.ブレーキ準備など危険回避準備行動の有無	2	3	3	3				
5.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす	3	4	4	4				
6.クリープを活用した滑らかな運転をしている	2	3	3	4				

協力者名	協 NO.21	
発見したくせ	1.片手運転が多い 2.視線確認が多い(首振りが少ない) 3.ブレーキ準備をしている 4.適切な車間距離をとっている	
自由回答 1 他者学習		
自由回答 2 変化	○ドラレコ取り付け時でも普段の運転を心がけた。	
目標	○片手運転を治したい。	

・所見

- フットブレーキを多用している。
- 足はかかとを浮かして踏み換えている。
- 安全確認の際、視線移動だけで首振りはあまりしていない。
- カメラをあまり意識しないよう、普段の運転を心がけたらしい。

・協 NO.21 の自己評価結果



・安全運転カフェ 10 団体目

・安全運転カフェ 10 団体目　協 NO.21 の録画映像

・協 NO.21 の自己評価シート

ふりがな お名前：	協NO.21	ご年齢：	73 歳
ご職業・所属：		運転歴：	53 年
運転頻度： (ほぼ毎日)・週3～5日・週1～2日・月1～4日・あまりない		車種：	軽四 ワゴン
		シートベルト警告音： (有)・無	

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近	なし	
1つ前		
アクセルとブレーキ踏み間違え経験	(なし) あり（具体的に： ）	

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている 4.している 3.普通 2.あまりしていない 1.していない）

	チェック項目	前 (12/13)	中1 (1/18)	中2 (1/6)	後1 (2/17)	後2 ( )
1	安全運転を意識している	3	4	3	4	
2	意識して安全確認動作をしている	2	3	3	4	
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	2	3	4	4	
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	2	3	3	3	
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	3	4	4	4	
6	クリープを活用した滑らかな運転をしている	2	3	3	4	

1回目の評価である「前」への評価点記入に際しては、その後の（「中1」～「後2」での）評価の変化の可能性に備え、「2」～「4」の3段階での評価点数を付けることをお薦めします。（「中1」以降で「1」や「5」などの変化した評価点がつけられるようにするため。例えば、「前」で評価点「5」を付けてしまうと、その後いくら運転意識が向上しても評価点「5」を付けるしかなく、向上したという変化が示せない。）

あなたの「くせ」をお売りください!!!

自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
気づいた「自分のくせ」を下の表に書き込んでください。くせ1種類につき 500 円で買い取ります。（上限 10 種類）

	くせの内容
1	片手運転が多い
2	視線確認が多い
3	ブレーキ準備がいい
4	車間きょりがいい
5	
6	
7	
8	
9	
10	

【自由回答1】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

・
・
・
・

【自由回答2】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

・
・ ドラレコ取付時でも普通の運転をした。
・
・

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

・ 片手運転を直したい

3-②-1　2021-5 団体目（累計 11 団体・22・23 人目）

【11 団体・22・23 人目】

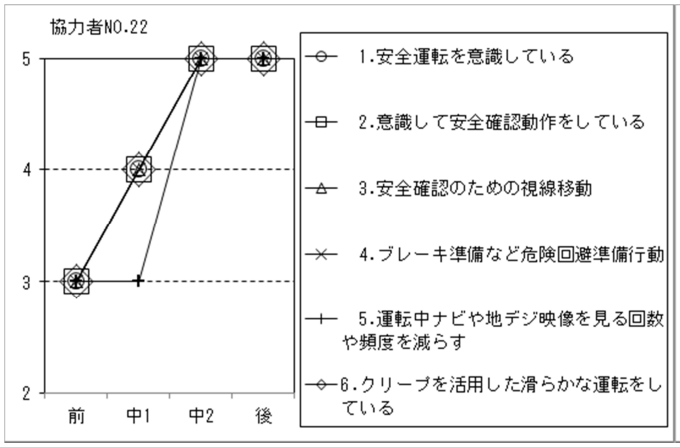
団体名	ライオンズクラブ							
実施場所	各事務所							
実施日	DR 取付:2020/12/14　1 回目:2021/12/21　2 回目:2021/12/24							
協力者名	協 NO.22				協 NO.23			
年齢	81				42			
所属・職業	製本会社会長				冷蔵会社代表取締役			
運転歴	62				24			
運転頻度	ほぼ毎日				週 1～2 日			
車種	レクサス				ヴォクシー			
事故歴（直近）	なし				なし			
事故歴（1 つ前）	なし				なし			
ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ警告音	あり				あり			
踏み間違え経験	なし				なし			
DR 機種	4 カメ⑦				4 カメ⑧			
効果測定	事前	1 回目	2 回目	取外し後	事前	1 回目	2 回目	取外し後
	12/14	12/21	12/24	2/2	12/14	12/21	12/24	2/2
1.安全運転を意識している	3	4	5	5	3	4	4	4
2.意識して安全確認動作をしている	3	4	5	5	3	3	4	4
3.安全確認のための視線移動の頻度	3	4	5	5	3	3	4	4
4.ブレーキ準備など危険回避準備行動の有無	3	4	5	5	3	3	5	5
5.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす	3	3	5	5	3	3	4	4
6.クリープを活用した滑らかな運転をしている	3	4	5	5	3	3	4	4

協力者名	協 NO.22	協 NO.23
発見したくせ	なし	1.片手運転 2.バック駐車 3.アクセルとブレーキをつま先で踏んでいる 4.スマホをよく触る 5.ハンドルを片手回し 6.シートベルト不着 7.「止まれ」を流している
自由回答 1 他者学習		
自由回答 2 変化	〇改めて初心に返ることができた。	〇他人の行動・運転は悪いところが気になりますが、自分のことについては気づきがありました。 〇取付前、取付中は普段とあまり変わらない運転を意識しました。 〇普段の自分の運転の特に「止まれ」を流しているところなど、今後気を付けたい。
目標	〇再度運転時、確認に確認をします。	〇無事故・無違反

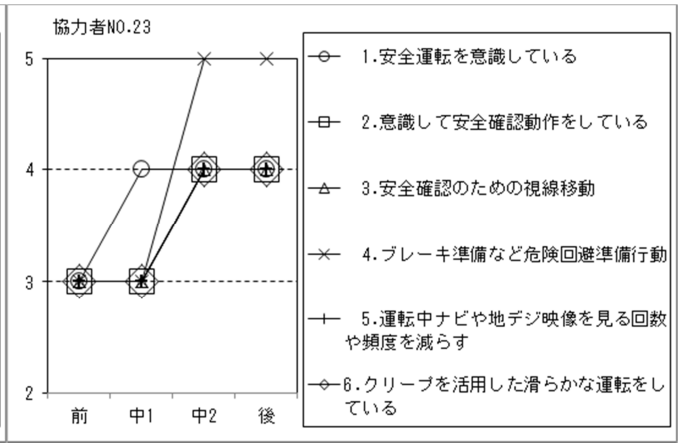
・所見

- 協 NO.22、協 NO.23 のどちらもこの安全運転教育プログラムの取り組みが素晴らしいものであると答えてくれるのだが、それを社員に勧めるところまではいかない。
- 協 NO.22 は特段のくせもなく、安全確認もしっかりしており、運転も焦らず「待つ」ことを意識している。
- 協 NO.23 は一時停止無視が目立った。自分の運転を見てからは一時停止を意識するようになった。

・協 NO.22 の自己評価結果



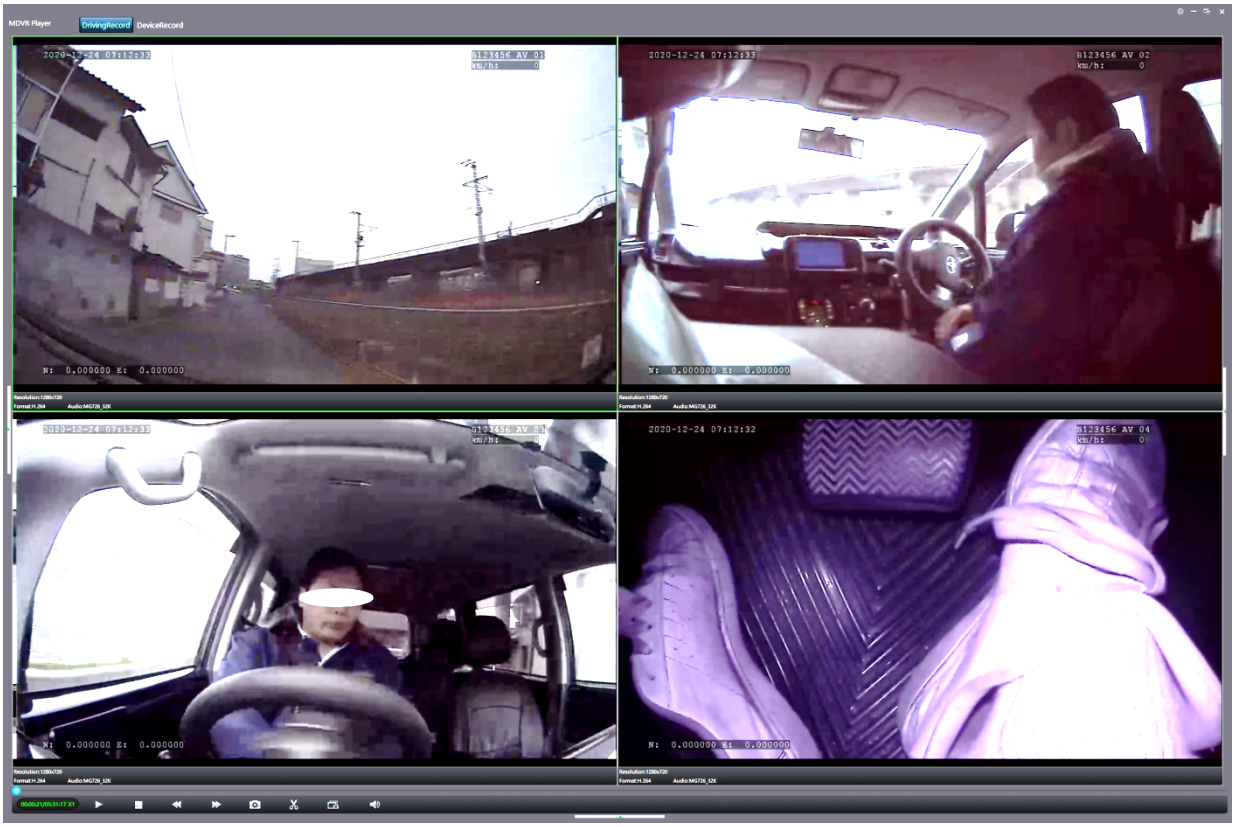
・協 NO.23 の自己評価結果



・安全運転カフェ ＩＩ 団体目

・安全運転カフェ ⅠⅠ 団体目　協 NO.22 の録画映像

・安全運転カフェ ⅠⅠ 団体目　協 NO.23 の録画映像



・協 NO.22 の自己評価シート

⑦

ふりがな お名前：	協 NO.22	ご年齢：	81才 歳
ご職業・所属		運転歴：	62 年
運転頻度：	ほぼ毎日・週 3～5 日・週 1～2 日・月 1～4 日・あまりない	車種：	レクサス
		シートベルト警告音：	有 ・ 無

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近	ない	
1 つ前		
アクセルとブレーキ踏み間違え経験	なし あり（具体的に： ）	

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている 4.している 3.普通 2.あまりしていない 1.していない）

	チェック項目	前（12/14）	中 1（12/21）	中 2（12/24）	後 1（2/2）	後 2（ ）
1	安全運転を意識している	3	4	5	5	
2	意識して安全確認動作をしている	3	4	5	5	
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	3	4	5	5	
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	3	4	5	5	
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	3	3	5	5	
6	クリープを活用した滑らかな運転をしている	3	4	5	5	

1 回目の評価である「前」への評価点記入に際しては、その後の（「中 1」～「後 2」での）評価の変化の可能性に備え、「2」～「4」の３段階での評価点数を付けることをお薦めします。（「中 1」以降で「1」や「5」などの変化した評価点がつけられるようにするため。例えば、「前」で評価点「5」を付けてしまうと、その後いくら運転意識が向上しても評価点「5」を付けるしかなく、向上したという変化が示せない。）

あなたの「くせ」をお売りください!!!

自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
気づいた「自分のくせ」を下の表に書き込んでください。くせ 1 種類につき 500 円で買い取ります。（上限 10 種類）

	くせの内容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

【自由回答 1】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

・

【自由回答 2】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

・あらためて初心をに返りました

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

・再度運転時確認し確認をします

・協 NO.23 の自己評価シート

⑧

ふりがな お名前	協 NO.23	ご年齢：	42 歳
ご職業		運転歴：	24 年
運転頻	ほぼ毎日・週 3～5 日・週 1～2 日・月 1～4 日・あまりない	車種：	ボクシー
		シートベルト警告音：	有 ・ 無

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近	なし	
1 つ前	なし	
アクセルとブレーキ踏み間違え経験	なし あり（具体的に： ）	

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている 4.している 3.普通 2.あまりしていない 1.していない）

	チェック項目	前（12/14）	中 1（12/21）	中 2（12/24）	後 1（2/2）	後 2（ ）
1	安全運転を意識している	3	4	4	4	
2	意識して安全確認動作をしている	3	3	4	4	
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	3	3	4	4	
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	3	3	5	5	
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	3	3	4	4	
6	クリープを活用した滑らかな運転をしている	3	3	4	4	

1 回目の評価である「前」への評価点記入に際しては、その後の（「中 1」～「後 2」での）評価の変化の可能性に備え、「2」～「4」の３段階での評価点数を付けることをお薦めします。（「中 1」以降で「1」や「5」などの変化した評価点がつけられるようにするため。例えば、「前」で評価点「5」を付けてしまうと、その後いくら運転意識が向上しても評価点「5」を付けるしかなく、向上したという変化が示せない。）

あなたの「くせ」をお売りください!!!

自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
気づいた「自分のくせ」を下の表に書き込んでください。くせ 1 種類につき 500 円で買い取ります。（上限 10 種類）

	くせの内容
1	片手運転.
2	バックちゅう車
3	アクセルとブレーキはつま先でふむ.
4	スマホをよくさわる.
5	ハンドル片手回し
6	シートベルト 不着
7	「止まれ」を流してる.
8	
9	
10	

【自由回答 1】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

・他人の行動・運転は、悪い所が、気になりますが.
・自分の事はついては、気づきがありました、

【自由回答 2】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

・取付前・取付中は、余り変わらない運転を意識しました.
・普段の自分の運転の時に「止まれ」を流してる所等、今後気を付けたい.

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

・無事故・無いはん.

3-②-1　2021-6 団体目（累計 12 団体・24 人目）

【12 団体・24 人目】

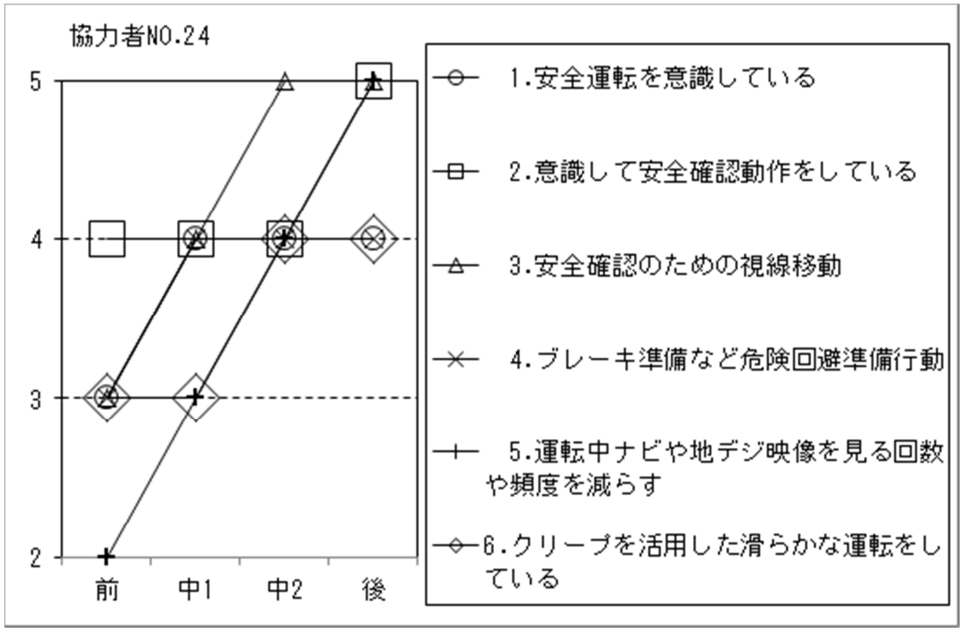
団体名	物品販売							
実施場所	(株)つながる手							
実施日	DR 取付:2021/1/12　　1 回目:2021/1/26　　2 回目:2021/2/2							
協力者名	協 NO.24							
年齢	59							
所属・職業	自営業							
運転歴	41							
運転頻度	ほぼ毎日							
車種	セレナ							
事故歴(直近)	2020 年 12 月:停車中、駐車場から出てきた車が左側面に追突される							
事故歴(1 つ前)	2013 年:走行中、和機密から出てきた車に後部左側へ追突される							
ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ警告音	あり							
踏み間違え経験	なし							
DR 機種	4 カメ③							
効果測定	事前	1 回目	2 回目	取外し後	事前	1 回目	2 回目	取外し後
	1/12	1/26	2/2	3/2				
1.安全運転を意識している	3	4	4	4				
2.意識して安全確認動作をしている	4	4	5	5				
3.安全確認のための視線移動の頻度	3	5	5	5				
4.ブレーキ準備など危険回避準備行動の有無	3	4	4	4				
5.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす	2	4	5	5				
6.クリープを活用した滑らかな運転をしている	3	4	4	4				

協力者名	協 NO.24	
発見したくせ	1.赤信号で停まっているとき、反対方向の信号で判断してしまう。（前方が青になっていなくても発進し始める） 2.片手運転が多い 3.目視での安全確認が割とできている 4.慣れた道での一時停止が甘いときがある	
自由回答 1 他者学習		
自由回答 2 変化	○自分の運転にくせがあること自体気づいてなかったので、それを知ることで意識して運転できるようになった。	
目標	○悪いくせを少しでも意識して直していって、一層の安全運転を心がけたい。	

・所見

- 普段から比較的安全運転を心がけている人だとの印象がある。
- 赤信号での停車中にまだ青に変わる前に少しずつ動き始めている点が気になった。（本人いわく、歩行者信号などで判断しているとのこと）

・協 NO.24 の自己評価結果



・安全運転カフェ 12 団体目

・安全運転カフェ 12 団体目　協 NO.24 の録画映像

・協 NO.24 の自己評価シート

③

ふりがな お名前：　協 NO.24		ご年齢：　59 歳
ご職業・所属：		運転歴：　41 年
運転頻度： (ほぼ毎日)・週 3～5 日・週 1～2 日・月 1～4 日・あまりない		車種：日産 セレナ シートベルト警告音： (有)・無
事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近	2020. 12月	停車場中 駐車場から出てきた車に左側面追突される
1 つ前	2013.	走行中 脇道から出てきた車に後部左に追突される
アクセルとブレーキ踏み間違え経験		(なし) あり（具体的に：　）

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている　4.している　3.普通　2.あまりしていない　1.していない）

	チェック項目	前 (1/12)	中1 (1/19)	中2 (1/26)	後1 (2/2)	後2 (3/2)
1	安全運転を意識している	3	4	4	4	4
2	意識して安全確認動作をしている	4	4	4	5	5
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	3	4	5	5	5
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	3	4	4	4	4
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	2	3	4	5	5
6	クリープを活用した滑らかな運転をしている	3	3	4	4	4

1 回目の評価である「前」への評価点記入に際しては、その後の（「中 1」～「後 2」での）評価の変化の可能性に備え、「2」～「4」の 3 段階での評価点数を付けることをお薦めします。（「中 1」以降で「1」や「5」などの変化した評価点がつけられるようにするため。例えば、「前」で評価点「5」を付けてしまうと、その後いくら運転意識が向上しても評価点「5」を付けるしかなく、向上したという変化が示せない。）

あなたの「くせ」をお売りください!!!

自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
気づいた「自分のくせ」を下の表に書き込んでください。くせ 1 種類につき 500 円で買い取ります。（上限 10 種類）

	くせの内容
1	赤信号で停まっている時 反対方向の信号で判断してしまう（前方が青になっていなくても発進しがち）
2	片手運転が多い
3	目視での安全確認が割とできている
4	慣れた道で車の一時停止が甘いときがある
5	
6	
7	
8	
9	
10	

【自由回答 1】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

・
・
・
・

【自由回答 2】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

・自分の運転にクセ自体がある事に気付いていなかったので、それを知る事で
・気を付けて運転できるようになった。
・
・

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

・悪いクセを少しでも意識して直していって一層の安全運転を心がけたい。

3-②-1　2021-7 団体目（累計 13 団体・25 人目）

【13 団体・25 人目】

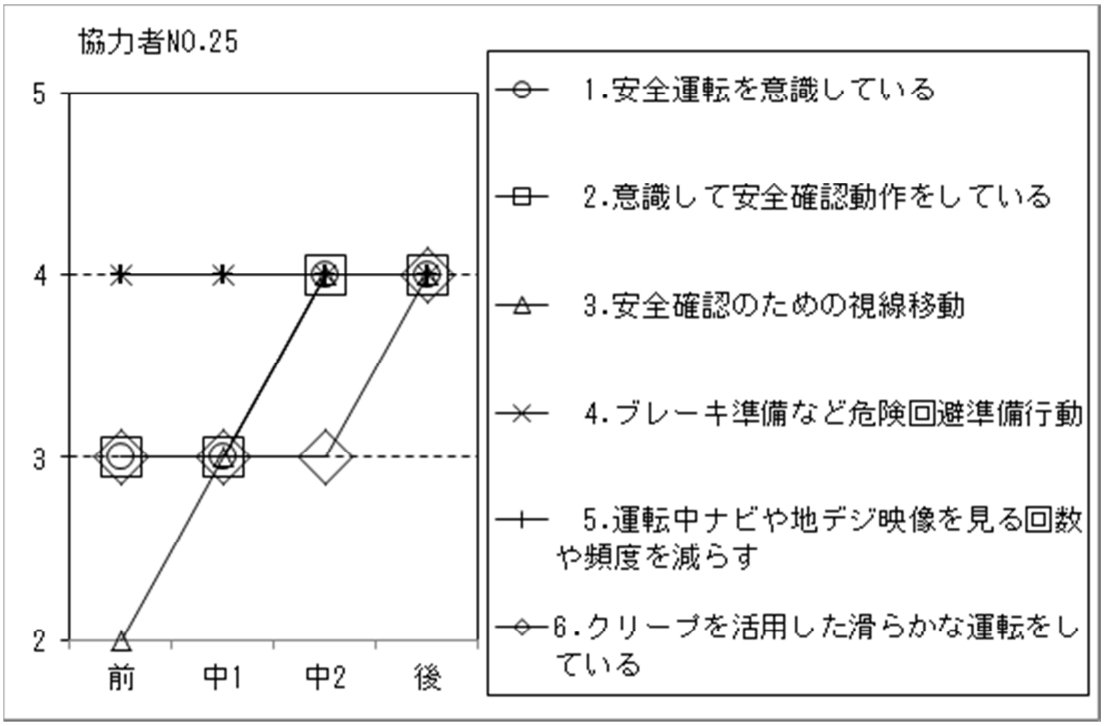
団体名	教育ボランティア							
実施場所	宇野小学校内コミュニティセンター							
実施日	DR 取付:2021/2/2　　1 回目:2021/2/9　　2 回目:2021/2/16							
協力者名	協 NO.25							
年齢	79							
所属・職業	無職							
運転歴	58							
運転頻度	週 1～2 日							
車種	マーク X							
事故歴（直近）	8 年前:一時停止義務違反							
事故歴（1 つ前）	15 年前:シートベルト忘れ							
ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ警告音	あり							
踏み間違え経験	なし							
DR 機種	4 カメ④							
効果測定	事前	1 回目	2 回目	取外し後	事前	1 回目	2 回目	取外し後
	2/2	2/9	2/16	2/26				
1.安全運転を意識している	3	3	4	4				
2.意識して安全確認動作をしている	3	3	4	4				
3.安全確認のための視線移動の頻度	2	3	4	4				
4.ブレーキ準備など危険回避準備行動の有無	4	4	4	4				
5.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす	4	4	4	4				
6.クリープを活用した滑らかな運転をしている	3	3	3	4				

協力者名	協 NO.25	
発見したくせ	1.右車線を通ることが多い 2.信号待ちでいらついている 3.車間距離はとっている	
自由回答 1 他者学習		
自由回答 2 変化	○安全運転を確実に行いたいと思った。	
目標	○免許更新あと 2 回は行いたい。	

・所見

- 車線変更時に目視による安全確認が少ない。
- 信号待ちからの発進時、クリープではなくアクセルオンしやすい。
- カメラを意識して、日常運転でのくせをわざと出そうと意識した。
- 免許更新の際、マルチ動作で欠点が出ていると指摘があったとのこと。

・協 NO.25 の自己評価結果



・安全運転カフェ 13 団体目

・安全運転カフェ 13 団体目　協 NO.25 の録画映像

・協 NO.25 の自己評価シート

ふりがな お名前：	協NO.25	ご年齢：	79 歳
ご職業・所属		運転歴：	55 年
運転頻度： ほぼ毎日・週3～5日・(週1～2日)・月1～4日・あまりない		車種：トヨタ マークX シートベルト警告音： (有)・無	

事故・違反歴	いつ頃	どのような
直近	3年前	一時停止見落
1つ前	15年前	シートベルト忘れ
アクセルとブレーキ踏み間違え経験		(なし) あり（具体的に： ）

ドラレコ活用効果

5 段階評価（5.よくしている 4.している 3.普通 2.あまりしていない 1.していない）

	チェック項目	前（2/2）	中1（2/9）	中2（2/16）	後1（2/28）	後2（ ）
1	安全運転を意識している	3	3	4	4	
2	意識して安全確認動作をしている	3	3	4	4	
3	安全確認のための視線移動を頻繁にしている	2	3	4	4	
4	ブレーキ準備など危険回避準備行動を心がけている	4	4	4	4	
5	運転中ナビや地デジ映像を見る回数や時間を減らすようにしている	4	4	4	4	
6	クリープを活用した滑らかな運転をしている	3	3	3	4	

1回目の評価である「前」への評価点記入に際しては、その後の（「中1」～「後2」での）評価の変化の可能性に備え、「2」～「4」の3段階での評価点数を付けることをお薦めします。（「中1」以降で「1」や「5」などの変化した評価点がつけられるようにするため。例えば、「前」で評価点「5」を付けてしまうと、その後いくら運転意識が向上しても評価点「5」を付けるしかなく、向上したという変化が示せない。）

あなたの「くせ」をお売りください!!!

自分の運転映像をみて、どんなこと（くせ）に気づきましたか？
気づいた「自分のくせ」を下の表に書き込んでください。くせ1種類につき 500 円で買い取ります。（上限 10 種類）

	くせの内容
1	右車線を通ることが多い。
2	信号待ちでいらついてる。
3	車間距離はとっている。
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

【自由回答1】他者の運転映像をみて、自分の運転に反映できることはありましたか？

-
-
-
-

【自由回答2】ドラレコ取付（または映像鑑賞）の前と後、また、取り外した後で運転に対する意識や行動に何か変わりましたか？

- 安全運転を確実に行いたいと思った。
-
-
-

【目標設定】あなたの今後の運転目標を教えてください。

- 免許更新 2回行いたい。

3-②-2　安全運転カフェ 2020 結果集計・考察

3-②-2-1　自己評価

ドライブレコーダーの取り付け時（前)、安全運転カフェの１回目（中１)、２回目（中２)、安全運転カフェ２回目開催の約１か月後（後）の４回にわたり、次に示す１～５の運転意識行動の評価項目について５段階評価（５.よくしている、４.している、３.普通、２.あまりしていない、１.していない）で回答していただいた結果を示します。

なお、協力者 NO.20 からは評価項目に「6.クリープを活用した滑らかな運転をしている」を追加しています。

自己評価データ解析は、2019 年度で得た 16 人分に、2020 年度で得た 9 人分を加えた 25 人分で行っています。

さて、ドライブレコーダーの取り付け時（前）と安全運転カフェの１回目（中１）の評価数値（平均値）を比較すると、１～６のすべての評価項目において平均値が上昇しており、ドライブレコーダー取り付けによる安全運転意識や行動への変化があったことがわかります。

また、ドライブレコーダーの取り付け付時（前）と安全運転カフェ２回目開催の約１か月後（後）の前後比較をしてみると（前後差)、１～６のいずれの評価項目においてもポイントの上昇がみられます。なかでも 2020 年度途中で新たに追加した「６.クリープを活用した滑らかな運転をしている」は 2.67 ポイントから 4.33 ポイントへと 1.66 ポイントも上昇していました。

これは、ドライブレコーダーの取り付け時（前）での評価点平均が 2.67 と他の評価項目と比べても低かったことから、そもそも「クリープの活用」という意識自体ない人もいたことが考えられます。

反対に「１．安全運転を意識している」は、もともと協力者の多くが、日常的に安全運転を意識している人であったため、前後差が出にくかったものと推察されます。

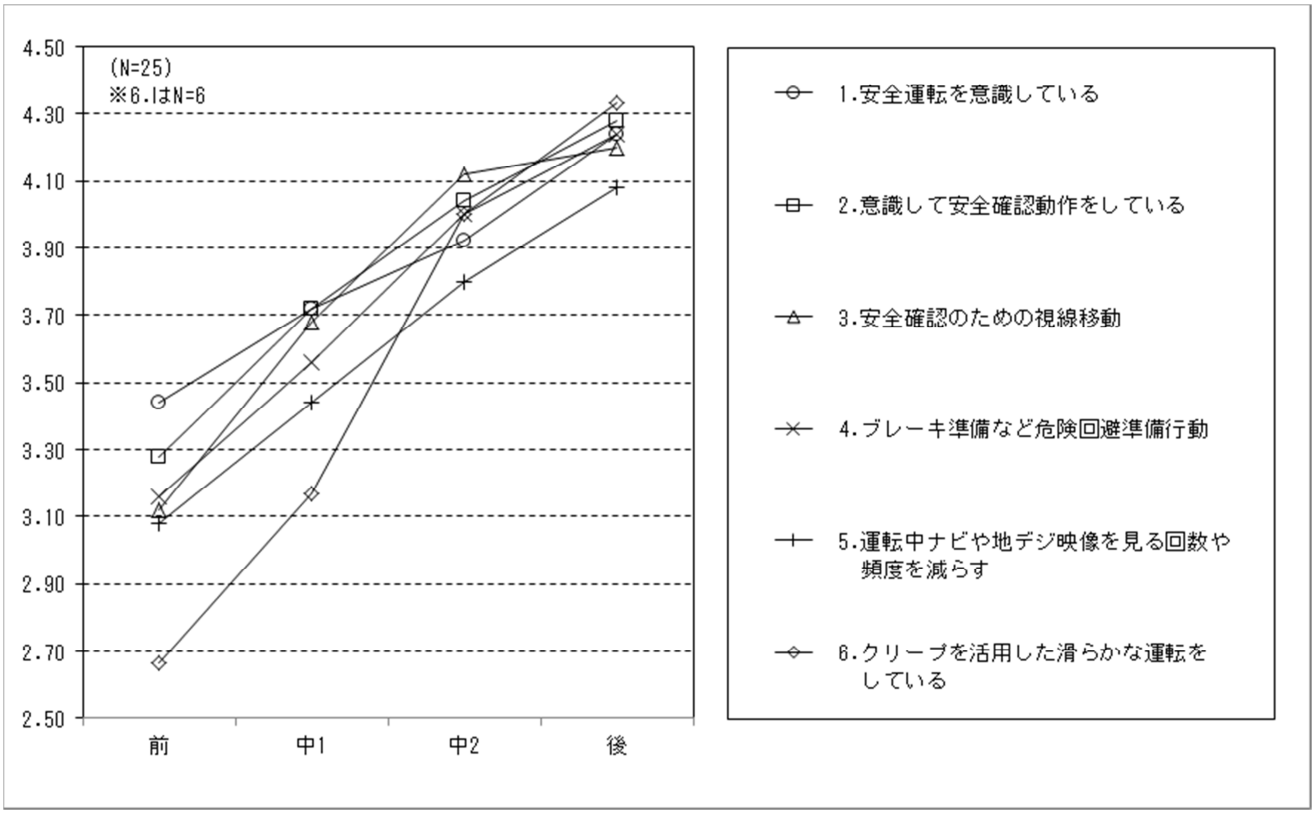
一方、１～６の評価項目ごとの標準偏差をみると、「３．安全確認のための視線移動の頻度」では標準偏差の値が 0.56～0.67 で比較的ばらつきが小さく、協力者による個体差は少なく、反対に「５.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす」では標準偏差の値が 1.0 に近く、回答のばらつきが大きく、協力者による個体差が大きかったことがわかります。

・運転意識行動評価の変化（25 人の平均値と標準偏差）

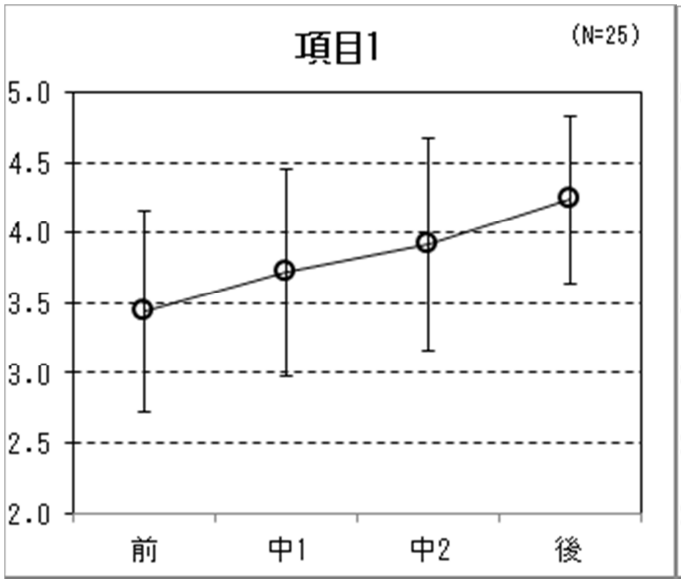
※（　）内の数値は標準偏差　（N=25　※6.のみ N=6）

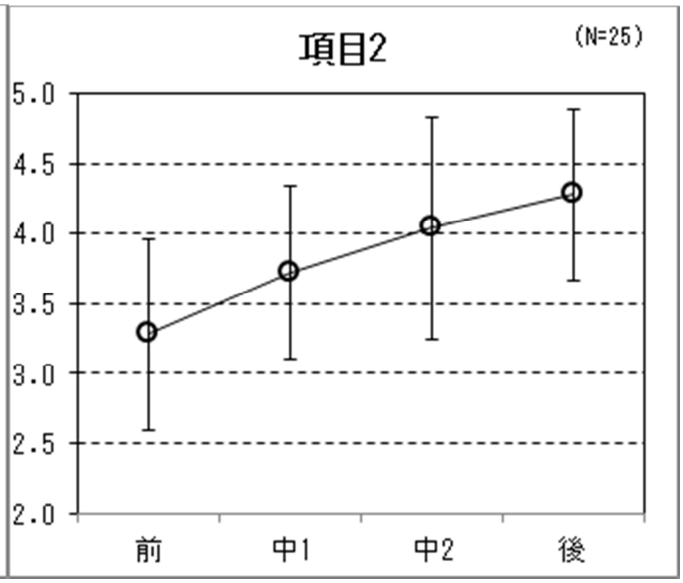
測定時期	前	中 1	中 2	後	前後差
1.安全運転を意識している	3.44(0.71)	3.72(0.74)	3.92(0.76)	4.24(0.60)	0.80
2.意識して安全確認動作をしている	3.28(0.68)	3.72(0.61)	4.04(0.79)	4.28(0.61)	1.00
3.安全確認のための視線移動の頻度	3.12(0.67)	3.68(0.56)	4.12(0.67)	4.20(0.58)	1.08
4.ブレーキ準備など危険回避準備行動の有無	3.16(0.85)	3.56(0.77)	4.00(0.82)	4.24(0.78)	1.08
5.運転中ナビや地デジ映像を見る回数や頻度を減らす	3.08(0.95)	3.44(0.96)	3.80(0.96)	4.08(0.95)	1.00
6.クリープを活用した滑らかな運転をしている	2.67(0.52)	3.17(0.41)	4.00(0.89)	4.33(0.52)	1.66

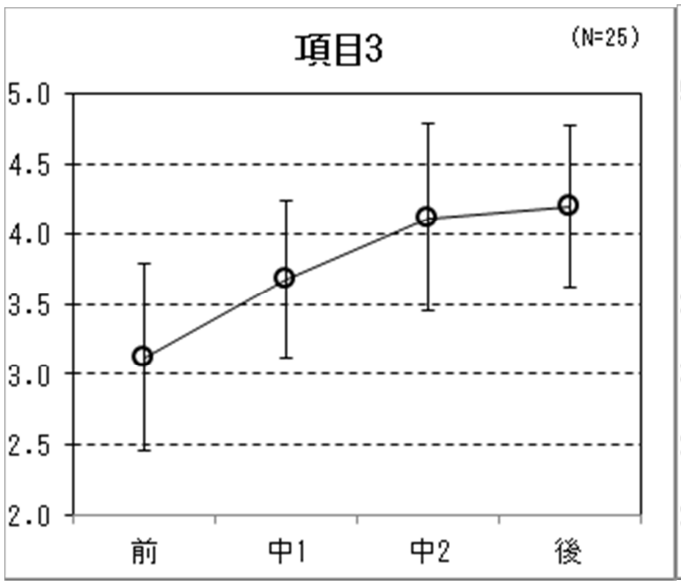
※1 団体目の効果測定は安カフェの前中後の３回だけだったため、便宜上、中を同じ数値で「中 1」と「中 2」として集計しています。

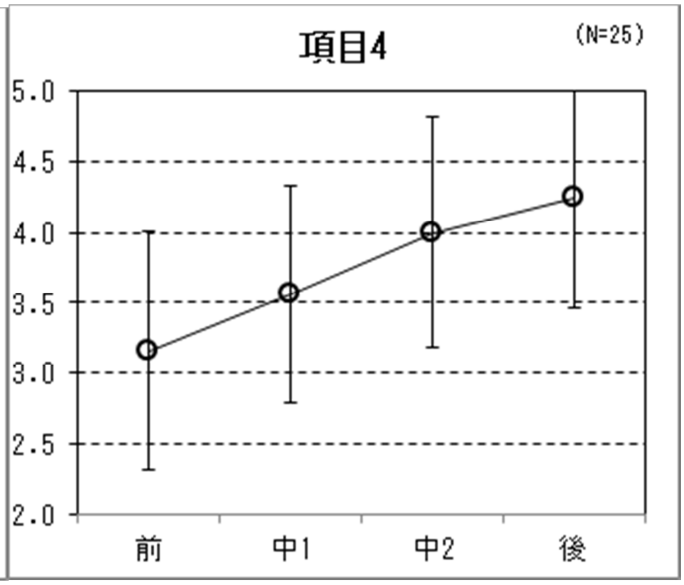


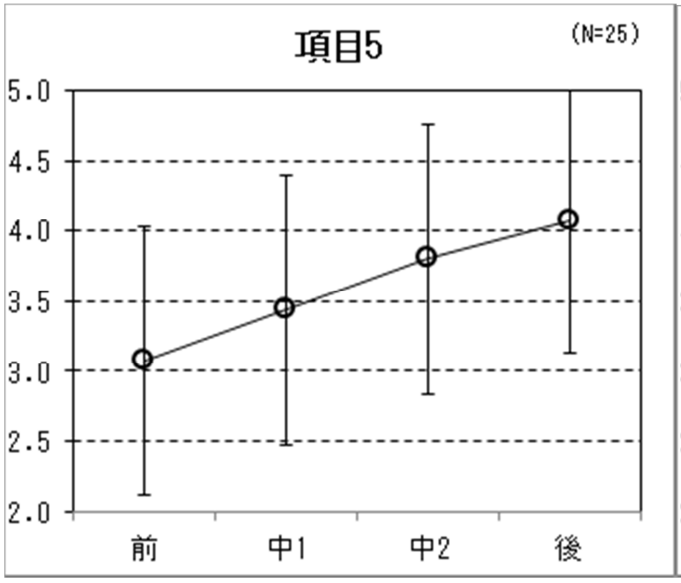
・各評価項目ごとの変化（平均値と標準偏差）

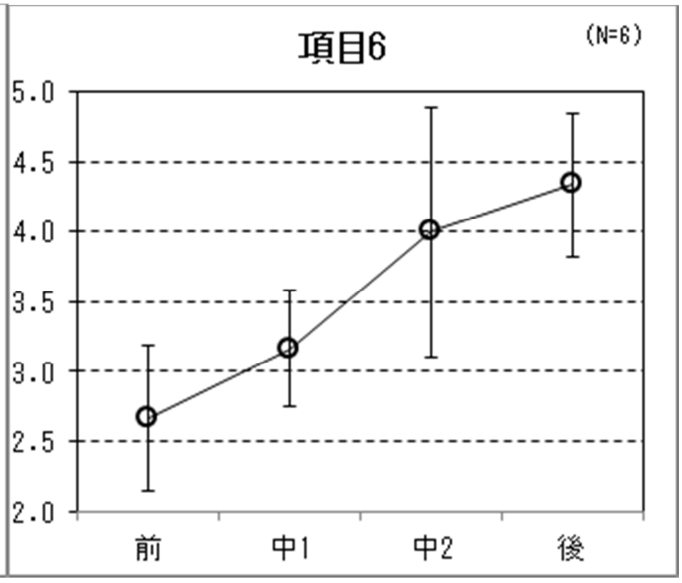












3-②-2-2　くせの発見

今回の安全運転カフェを通じて運転者が気づいた自分の運転のくせをまとめると、主に以下のようなものが見られました。〇印を付けたものは 2020 年度で新たに追加したものです。

【良いくせ】

・身を乗り出しての意識的な安全確認
・複数回の念を入れた意識的な安全確認
・ブレーキに備えた足の位置（ブレーキ準備動作ができている）
〇歩行者等の早期発見に備えた前方情報取得
〇適切な車間距離
〇フットブレーキの活用
〇バック駐車により発進時のリスクを減らす
〇運転中は焦らず「待つ」ことを心がけている
〇クリープを活用して滑らかな運転を心がけている

【注意すべきくせ】

・走り出してからの安全ベルト装着
・余裕のない（前のめりやのけぞりすぎなど）運転姿勢（主に上半身）
・首を振らず、視線だけでの安全確認
・ブレーキング間際での足のペダル移動（ブレーキ準備動作がない）
・スマホなどの脇見（前方不注意）
・片手運転
・不完全な一時停止
・感覚だけ（安全確認せずの）車線変更
・同乗者と会話中の無意識運転
・意識運転しているつもりになった不完全運転
・夜になると集中力が落ちている（無意識運転になっている）
〇ハンドルを持つ手の位置
〇前走車との車間距離
〇走行中の走行位置の偏りや右左折時でのショートカット気味な走行ルート
〇不安定な座席位置や座り方（主に下半身）
〇走り出してからのシートベルト着用
〇クリープを活用せず、アクセルを踏み込んでの発進
〇アクセルやブレーキペダルの不安定な踏み方
〇交差点等の赤信号停止時、横方向道路の信号機や歩行者信号で信号が変わることを予測して、ブレーキを緩めはじめてしまう。

3-②-2-3　自由回答

効果測定のアンケートに設定している自由回答に書かれた内容を見てみると、「安全確認動作をより意識しだした」や「一時停止を意識して止まるようになった」、「自分のくせに気づいた」、「無意識運転になっている自分の姿が確認できた」など、第三者目線での気づきや、他者運転を見ることによる学習などの効果が多く寄せられています。

総合してみると、自分の運転のくせなどに注意を向け、運転中は意識的な運転を心がけようとする内容の回答が多く寄せられており、安全運転カフェの実施により、「無意識運転の意識化と自発的安全運転意識の喚起による安全運転行動の定着」という当事業の目的に沿った効果がでているものと考えられます。

3-②-3　日常運転時での下肢動作意識化への働きかけ

2020 年度途中から下記のような下肢動作に関する意識付けを行うようにしたところ、協力者のうち複数名から、自己評価結果や自由回答、録画映像などにおいて、アクセルやブレーキ操作などの下肢動作に対しても日頃から意識する兆候や回答が見られました。

・下肢動作意識化への働きかけ方策

○自己評価シートにて「アクセルとブレーキの踏み間違え経験」を追加
○評価項目に「6.クリープを活用した滑らかな運転をしている」を追加
○「チャックポイント一覧」による下肢動作への意識付け
○安全運転カフェでのファシリテーターによる下肢動作への意識付け質問

・下肢動作意識化の兆候

○評価項目「6.クリープを活用した滑らかな運転をしている」におけるドライブレコーダーの取り付け付時（前）と安全運転カフェ２回目開催の約１か月後（後）の自己評価点の前後比較(前後差)において、2.67 ポイントから 4.33 ポイントへと 1.66 ポイントも上昇していました。(他の項目の前後差は 0.80～1.08 ポイント程度)
○くせの気づきや自由回答において、「ブレーキ準備動作」や「フットブレーキの活用」、「クリープの活用」などの下肢動作に関する内容が見られるようになりました。

3-②-4　今後の課題

これまで２年間で 25 人からの協力者を得て実証実験を繰り返してきたことから、本プログラムの内容（実施手順や教示方法など）はある程度基本形が出来上がってきたと思われますが、それでも効果検証という点からは、まだまだサンプル数が少ない状況には変わりありません。今後もサンプル数の上積みによる効果検証が必要と思われます。

また、本プログラムの教育効果がどの程度持続できるかについても把握しておく必要があると考えます。

一方、今後、企業や地域組織、一般家庭などへ本プログラムの導入を推進していくことを考えると、本プログラムの魅力度アップなどの誘因づくりと、いかにして認知され、導入行動に結びつけるかというマーケティング戦略の検討が必要となっています。というのもこれまでは、本プログラムの実施を企業や地域組織に対して個別にお願いして協力を得ることがほとんどでした。しかし、全国的な展開を目指すのであれば、利用者側からオファーしてくるようなしかけが必須となります。また、これまでの参加協力者が他の協力者を紹介してくれたという例もありません。何人もの企業経営者や地域組織代表者が参加協力していたのに、従業員や組織員に対して本プログラムの実施を勧めるという事例もありませんでした。

本プログラム拡大のネックとなっていると思われるのは、ア．映像に映るプライバシーへの懸念、イ．導入の必要性が弱い（ニーズが低い）、ウ．実施期間が３週間程度と長期になる、といった点です。

「ア．映像に映るプライバシーへの懸念」に対しては、「録画したくないときには手元スイッチを OFF にすることができる」や「安全運転カフェでの映像再生時には運転者本人とファシリテーターおよび、運転者本人が同席を認めたギャラリーのみにする」といった対策を施しています。

「イ．導入の必要性が弱い（ニーズが低い）」については、「企業や地域組織での安全運転教育のツールとして導入を勧める」や「安全運転教育に関心のある人を集めたグループを作る」などが考えられます。

「ウ．実施期間が３週間程度と長期になる」については、「現在２回実施している安全運転カフェを１回だけにしても教育効果があるかどうか」の検証が必要と考えられます。

以上のように、効果検証のためのサンプル数の上積み、導入拡大のためのプログラム改善とマーケティング戦略の検討が主な課題であると捉えています。

【課題】

○サンプル数の上積み
○教育効果持続期間の把握
○プライバシーへの懸念
○導入の必要性が弱い（ニーズが低い）
○導入拡大方策の検討

3-③　手法の改良・パッケージ化

当安全運転教育プログラムを拡大していくためには､安全運転カフェの運営方法をパッケージ化し､誰もが行えるようにする必要があります。そのため､当プログラムで使用しているドライブレコーダーの取り付け方をまとめた｢安全運転カフェ　ドライブレコーダー取り付けマニュアル」（全 31Ｐ)、安全運転カフェの運営方法をまとめた「安全運転カフェ実施マニュアル」（全 33Ｐ）を作成しました。

・安全運転カフェ
ドライブレコーダー取り付けマニュアル

・安全運転カフェ実施マニュアル

3-④　協力組織・団体への拡大

2019 年度に引き続き、当安全運転教育プログラムの告知と協力者募集のため、チラシの改良を行い、知人や経営者団体に配布するとともに、飲食店などに貼付けをお願いしました。

しかしながら、新型コロナ感染予防として緊急事態宣言が発出されるなど、他者との接触が極力控えられるようになり、当事業への参加協力を依頼するのも憚れる事態となりました。そうした中でも、当事業の必要性に共感を得、７団体９人の協力者があったことは感謝すべきことだと考えます。

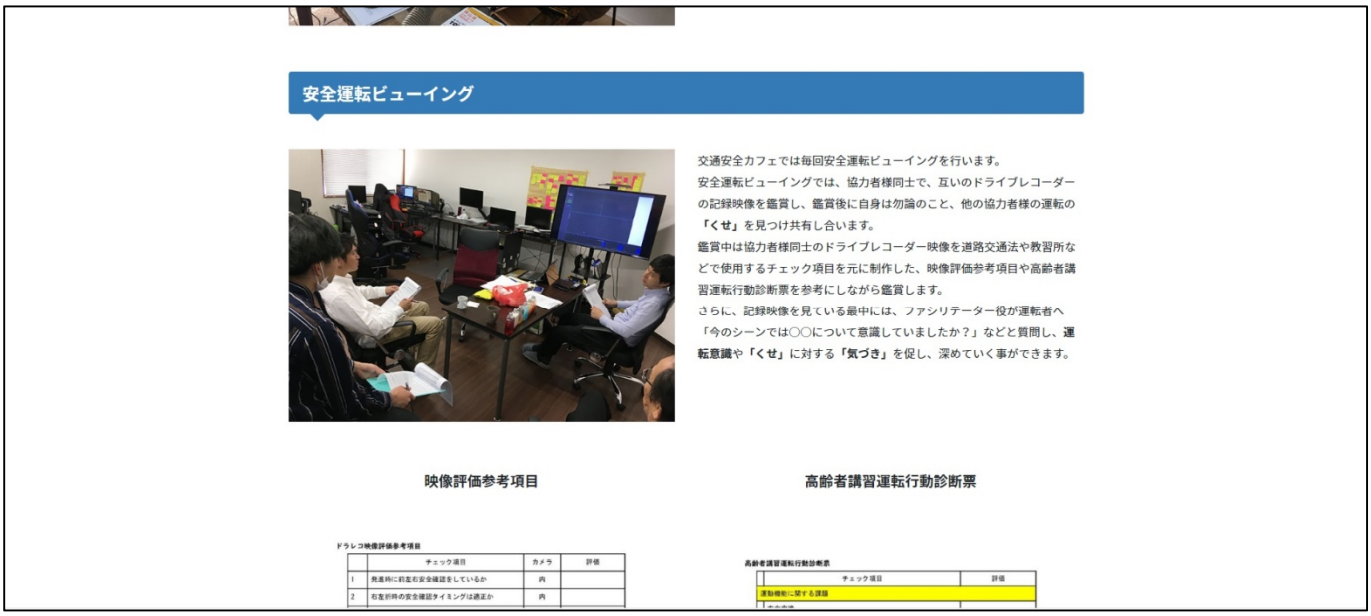
一方、こうした当安全教育プログラムの広報と並行して、安全運転カフェホームページの作成、運営を行ってきました。サイトからの問合せは現在までのところありません。

・安全運転カフェ協力者募集チラシ

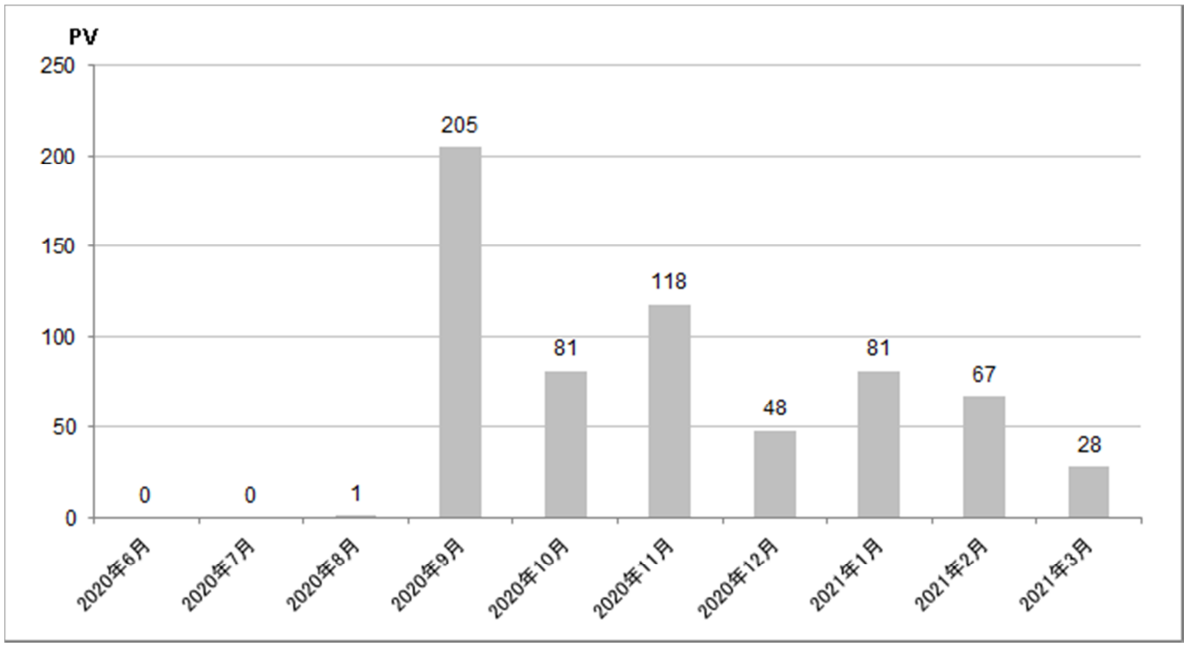
・安全運転カフェホームページ（結果報告兼協力者募集サイト）

安全運転カフェの概要および結果報告と協力者募集のため、ホームページを作成し、公開しており、折に触れ当サイトの広報も行ってきました。2020 年 8 月から 2021 年 3 月までの月間平均 PV 数は 78.6PV でした。

サイト URL　https://ancafe.jp/



・安全運転カフェホームページ　月間ＰＶ数



4. 今後の予定

普段の運転で運転者自身が気づかなかった自分のくせに気づいたり、自分は安全運転をしていると思っている人が、他者の運転を見ることにより安全運転意識を見直すきっかけになったりするなど、安全運転カフェへの参加によって安全運転意識の喚起と行動変容へのきっかけづくりになっているという効果が確認されています。

こうした自らの「気づき」を促す教育方法を、企業や地域組織、一般家庭に広く導入する方策について検討、実施していきます。

●2021 年度（３年目）

計画３年目となる 2021 年度では、コロナ禍で達成できなかった昨年度の実施目標を埋める 21 人分の安全運転カフェ実施、各種団体組織の特徴に応じたアプローチ法の開発と組織・団体への普及拡大に取り組む予定です。

あとがき

以上ご報告した通り、現在はまだ全体研究の道半ばであることを承知しております。その責任をコロナ禍のみに転嫁することなく、我々の守備範囲を可能な限り拡げ、研究参加団体数を増やし、本研究の有効性を検証するエヴィデンスを得なければなりません。

そのためには本研究への多数の賛同を得、広く認識される必要があります。したがって、学会への発表をはじめ、メディアを通じた広報活動はもちろん、本 NPO 法人の特色である地域密着型の手法を活かし、高齢運転者のみならず一般市民ドライバーの「安全運転気づき運動」の展開を図る予定です。

本事業も本年が３年目の最終年度を迎えます。

学会発表において明らかになった課題及び、本研究参加者等から指摘された諸問題を解決できる最後のチャンスと心得、最善の努力を傾注する覚悟です。

本年もよろしくお願い申し上げます。

2021 年３月末日

NPO 法人 安全と安心 心のまなびば
理事長　　金光義弘

ドラレコ研究部会・研究員名簿

NO.	氏名	所属・役職	備考
1	金光　義弘	ＮＰＯ法人　安全と安心　心のまなびば　理事長 川崎医療福祉大学　名誉教授	
2	木村　憙從	ＮＰＯ法人　安全と安心　心のまなびば　副理事長 マイクロメイト岡山株式会社　代表取締役会長	
3	渓口　裕之	ＮＰＯ法人　安全と安心　心のまなびば　理事 広島県　沼田自動車学校	
4	山本　純也	ＮＰＯ法人　安全と安心　心のまなびば　理事 マイクロメイト岡山株式会社　交通教育ソリューション事業部課長	
5	髙橋　弘	ＮＰＯ法人　安全と安心　心のまなびば　理事 マイクロメイト岡山株式会社　取締役	事務局
6	天野　貴仁	株式会社つながる手　代表取締役	
7	吉村　修一	埼玉県　株式会社臼田（ファインモータースクール）	
8	横山　優貴	マイクロメイト岡山株式会社　交通教育ソリューション事業部	

ドライブレコーダーを用いた
自動車運転者への安全運転教育手法の開発
「無意識運転から意識運転へ」
【２０２０年度研究実績報告】

特定非営利活動法人　安全と安心　心のまなびば

２０２１年３月

一般社団法人　日本損害保険協会　自賠責運用益拠出事業